

原 子 力 施 設
環 境 放 射 線 調 査 報 告 書

(平 成 26 年 度 報)

青 森 県

ま え が き

青森県は、原子力施設周辺における住民の安全確保及び環境の保全を図るため、平成元年4月から原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング計画に基づき、日本原燃株式会社とともに環境放射線等の調査を、平成15年4月からは、東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング計画に基づき、東北電力株式会社とともに環境放射線の調査を、平成20年4月からは、リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング計画に基づき、リサイクル燃料貯蔵株式会社とともに環境放射線の事前調査を実施しています。

平成26年4月から平成27年3月までの平成26年度における県内の原子力施設の状況として、原子燃料サイクル施設については平成18年3月31日から六ヶ所再処理工場においてアクティブ試験（使用済燃料による総合試験）を、東通原子力発電所については、平成23年2月6日から第4回定期検査を実施しています。

また、リサイクル燃料備蓄センターについては、平成22年8月末から工事を開始し、平成25年8月29日に使用済燃料貯蔵建屋本体が完成しています。これらの施設については、現在、国において新規規制基準に係る適合性審査が進められているところです。

本報告書は、平成26年度1年間について、青森県及び各事業者が実施した原子力施設周辺における空間放射線及び環境試料中の放射能濃度等の調査結果をとりまとめたものです。

平成27年7月

青 森 県

目 次

〔原子燃料サイクル施設〕

1. 調査概要	3
(1) 実施者	3
(2) 期間	3
(3) 内容	3
(4) 測定方法	3
2. 調査結果	6
(1) 空間放射線	6
(2) 環境試料中の放射能	15
(3) 環境試料中のフッ素	24
3. 線量の推定・評価	26
(1) 測定結果に基づく線量	26
(2) 放出源情報に基づく線量	26
4. 総合評価	27
(1) 平成26年度の環境放射線等調査結果	27
(2) 施設起因の線量の推定・評価	27
(3) 平常の変動幅の設定	27
資 料	
1. 青森県実施分測定結果	31
(1) 空間放射線量率測定結果	32
① モニタリングステーションによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果	32
(参考) モニタリングステーションによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果	34
② モニタリングポストによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果	36
③ モニタリングカーによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果	38
(2) 積算線量測定結果 (RPLD)	39
(3) 大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定結果	40
(4) 大気中の気体状 β 放射能測定結果 (クリプトン-85換算)	41
(5) 大気中のヨウ素-131測定結果	43
(6) 環境試料中の放射能測定結果	44
(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果	54
(8) 大気中の気体状フッ素測定結果	55
(9) 環境試料中のフッ素測定結果	56
(10) 気象観測結果	57
① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深	57
② 大気安定度出現頻度表	59
③ 風配図	60
2. 事業者実施分測定結果	63
(1) 空間放射線量率測定結果	64
① モニタリングステーションによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果	64
(参考) モニタリングステーションによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果	65
(2) 積算線量測定結果 (RPLD)	66
(3) 大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定結果	67
(4) 大気中の気体状 β 放射能測定結果 (クリプトン-85換算)	68
(5) 大気中のヨウ素-131測定結果	69
(6) 環境試料中の放射能測定結果	70
(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果	78
(8) 大気中の気体状フッ素測定結果	79
(9) 環境試料中のフッ素測定結果	80
(10) 気象観測結果	82
① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深	82
② 大気安定度出現頻度表	83
③ 風配図	84

3. 線量の推定・評価	85
(1) 測定結果に基づく線量	86
(2) 放出源情報に基づく線量（事業者報告）	86
(3) 自然放射線等による線量	87
4. 原子燃料サイクル施設操業状況（事業者報告）	91
(1) ウラン濃縮工場の操業状況	92
① 運転状況及び主要な保守状況	92
② 放射性物質及びフッ素化合物の放出状況	94
(2) 低レベル放射性廃棄物埋設センターの操業状況	95
① 廃棄物受入れ・埋設数量及び主要な保守状況	95
② 放射性物質の放出状況	96
③ 地下水中の放射性物質の濃度の測定結果	97
(3) 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターの操業状況	98
① 廃棄物受入れ・管理数量及び主要な保守状況	98
② 放射性物質の放出状況	98
(4) 再処理工場の操業状況	99
① 使用済燃料受入れ量、再処理及び在庫量（貯蔵数）並びに主要な保守状況	99
② 製品の生産量	101
③ 放射性物質の放出状況	101
参考資料	104
1. モニタリングポスト測定結果	105
(1) 再処理事業所モニタリングポスト測定結果	105
① 空間放射線量率	105
② 大気中の気体状β放射能（クリプトン-85換算）	108
(2) 濃縮・埋設事業所モニタリングポスト測定結果	111
① 空間放射線量率	111
2. 再処理工場の液体廃棄物の放出量測定結果	112
3. 再処理工場の気体廃棄物の放出量測定結果	115
4. 気象観測結果	118
① 風速	118
② 降水量	118
③ 大気安定度	119
④ 風配図	120
5. 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング実施要領	123
6. 空間放射線等測定地点図及び環境試料の採取地点図	135
7. 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果の評価方法	139
8. 六ヶ所再処理工場の操業と線量評価について	147

〔東通原子力発電所〕

1. 調査概要	159
(1) 実施者	159
(2) 期間	159
(3) 内容	159
(4) 測定方法	159
2. 調査結果	162
(1) 空間放射線	162
(2) 環境試料中の放射能	170
3. 線量の推定・評価	177
(1) 測定結果に基づく線量	177
(2) 放出源情報に基づく線量	177
4. 総合評価	178
(1) 平成26年度の環境放射線調査結果	178
(2) 施設起因の線量の推定・評価	178
(3) 平常の変動幅の設定	178

資 料

1. 青森県実施分測定結果	181
(1) 空間放射線量率測定結果	182
① モニタリングステーションによる空間放射線量率 (N a I) 測定結果	182
(参考) モニタリングステーションによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果	183
② モニタリングポストによる空間放射線量率 (N a I) 測定結果	184
(参考) モニタリングポストによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果	187
③ モニタリングカーによる空間放射線量率 (N a I) 測定結果	189
(2) 積算線量測定結果 (R P L D)	190
(3) 大気浮遊じん中の全β放射能測定結果	191
(4) 大気中のヨウ素-131測定結果	191
(5) 環境試料中の放射能測定結果	192
(6) 気象観測結果	202
① 風速・気温・湿度・降水量・積雪深	202
② 大気安定度出現頻度表	206
③ 風配図	207
2. 事業者実施分測定結果	209
(1) 空間放射線量率測定結果	211
① モニタリングポストによる空間放射線量率 (N a I) 測定結果	211
(参考) モニタリングポストによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果	212
(2) 積算線量測定結果 (R P L D)	213
(3) 環境試料中の放射能測定結果	214
(4) 気象観測結果	222
① 降水量・積雪深	222
3. 線量の推定・評価	223
(1) 測定結果に基づく線量	224
(2) 放出源情報に基づく線量 (事業者報告)	224
(3) 自然放射線等による線量	225
4. 東通原子力発電所の運転状況 (事業者報告)	229
(1) 発電所の運転保守状況 (平成26年4月～平成27年3月)	230
(2) 放射性物質の放出状況 (平成26年4月～平成27年3月)	231
① 放射性気体廃棄物の放射性物質の放出量	231
② 放射性液体廃棄物の放射性物質の放出量	231
参考資料	232
1. モニタリングポスト測定結果 (平成26年4月～平成27年3月)	233
① 空間放射線量率	233
2. 排気筒モニタ測定結果 (平成26年4月～平成27年3月)	237
① 全ガンマ線計数率 (希ガス)	237
3. 放水口モニタ測定結果 (平成26年4月～平成27年3月)	237
① 全ガンマ線計数率	237
4. 気象観測結果 (平成26年4月～平成27年3月)	238
① 風速	238
② 降水量	238
③ 大気安定度	239
④ 風配図	240
5. 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング実施要領	243
6. 空間放射線測定地点図及び環境試料の採取地点図	253
7. 東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング結果の評価方法	259

【リサイクル燃料備蓄センター】

1. 調査概要	269
(1) 実施者	269
(2) 期間	269
(3) 内容	269
(4) 測定方法	269

2. 調査結果	271
(1) 空間放射線	271
(2) 環境試料中の放射能	273
3. 総合評価	275
(1) 平成26年度の環境放射線調査結果	275
(2) 平常の変動幅の設定	275

資 料

1. 青森県実施分測定結果	279
(1) 空間放射線量率測定結果	280
① モニタリングポストによる空間放射線量率 (N a I) 測定結果	280
(参考) モニタリングポストによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果	280
(2) 積算線量測定結果 (R P L D)	281
(3) 環境試料中の放射能測定結果	281
(4) 気象観測結果	282
① 降水量・積雪深	282
2. 事業者実施分測定結果	283
(1) 空間放射線量率測定結果	284
① モニタリングポストによる空間放射線量率 (N a I) 測定結果	284
(参考) モニタリングポストによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果	285
(2) 積算線量測定結果 (R P L D)	286
(3) 環境試料中の放射能測定結果	286
(4) 気象観測結果	287
① 降水量・積雪深	287
3. リサイクル燃料備蓄センターに係る環境放射線モニタリング実施要領	289
4. 空間放射線測定地点図及び環境試料の採取地点図	295

〔自然放射線等による線量算出要領〕	299
-------------------	-----

〔付〕

1. モニタリングポスト東北町役場局周辺における工事の影響について	311
2. モニタリングポイント千歳平における周辺環境の変化について	314
3. 東通原子力発電所及びリサイクル燃料備蓄センターに係る環境試料の測定計画の変更について	316
－ 松葉 (比較対照 (むつ市川内町)) : 青森県実施分 －	
4. モニタリングポスト東北分庁舎局及び尻労局周辺における工事の影響について	318
5. 平常の変動幅の設定について	320
－ 東京電力(株)福島第一原子力発電所事故の影響により平常の変動幅を上回った測定値の取扱い －	
6. 原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング基本計画及び東通原子力発電所に係る環境放射線モニタリング実施計画の改訂について	322
－ 測定局 (平沼局、泊局及び小田野沢局) の移設 －	

〔原子力施設環境放射線調査報告書の訂正について〕	327
--------------------------	-----

〔参考〕

青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議設置要綱	333
青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議委員名簿	336

原子燃料サイクル施設

表中の記号（資料 4. 原子燃料サイクル施設操業状況を除く）

— : モニタリング対象外を示す。

ND : 定量下限値未満を示す。分析室等で実施する環境試料中放射性核種の分析測定については、測定条件や精度を一定の水準に保つため、試料・核種毎に定量下限値を定めている(原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング実施要領 4. 数値の取扱方法(5)別表1、(6)別表2参照)。

* : 検出限界以下を示す。モニタリングステーションにおいて自動的に採取・測定している大気浮遊じん中の全アルファ及び全ベータ放射能については、測定条件(採取空気量等)が変動するため、測定値が計数誤差の3倍以下の場合を検出限界以下としている。

: 平常の変動幅を外れた測定値を示す。

1 調査概要

(1) 実施者

青森県原子力センター
日本原燃株式会社

(2) 期間

平成26年4月～平成27年3月（平成26年度）

(3) 内容

調査内容は、表1-1、表1-2（1）及び表1-2（2）に示すとおりである。

(4) 測定方法

『原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング実施要領』による（「資料」参照）。

表1-1 空間放射線

測定項目		測定頻度	地点数		
			区分	青森県	事業者
空間放射線量率	モニタリングステーション	連続	施設周辺地域	5	3
			比較対照(青森市)	1	-
	モニタリングポスト	連続	施設周辺地域	6	-
	モニタリングカー	1回/3箇月	施設周辺地域	23	-
比較対照(青森市)			1	-	
	走行測定	1回/3箇月	施設周辺地域	9ルート	-
RPLDによる積算線量		3箇月積算	施設周辺地域	23	13
			比較対照(青森市)	1	-

表1-2 (1) 環境試料中の放射能及びフッ素 (モニタリングステーション)

試料の種類		測定頻度	地点数							
			青森県				事業者			
			全α・全β放射能	β放射能	ヨウ素-131	フッ素	全α・全β放射能	β放射能	ヨウ素-131	フッ素
施設周辺地域	大気浮遊じん	1回/週	5	-	-	-	3	-	-	-
	大気	連続	-	5	-	-	-	3	-	-
			-	-	-	1	-	-	-	3
1回/週	-	-	5	-	-	-	-	3	-	
比較対照(青森市)	大気浮遊じん	1回/週	1	-	-	-	-	-	-	-
	大気	連続	-	1	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	1	-	-	-	-
1回/週	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

- ・モニタリングステーション
空間放射線量率測定器、ダストモニタ等の連続モニタ及び積算線量計を備えた野外測定設備
- ・モニタリングポスト
空間放射線量率測定器及び積算線量計を備えた野外測定設備
- ・モニタリングポイント
積算線量計を備えた野外測定設備

表1-2(2) 環境試料中の放射能及びフッ素（機器分析等）

試料の種類	青森県											事業者												
	地点数	検体数										地点数	検体数											
		γ線放出核種	トリチウム	炭素-14	ストロンチウム-90	ヨウ素-129	プルトニウム	アメリカシウム-241	キュリウム-244	ウラン	フッ素		γ線放出核種	トリチウム	炭素-14	ストロンチウム-90	ヨウ素-129	プルトニウム	アメリカシウム-241	キュリウム-244	ウラン	フッ素		
陸上試験料	大気浮遊じん	5	20	-	-	20	-	20	-	-	4	-	3	12	-	-	12	-	12	-	-	12	-	
	大気（水蒸気状）	2	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大気（粒子状・気体状）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
	雨	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	降下物	1	12	-	-	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	河川	2	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	2	-	2	-	2	-	-	2	2	
	湖沼	3	8	8	-	4	-	-	-	-	-	6	2	8	8	-	8	-	8	-	-	8	8	
	水道	1	4	4	-	4	-	-	-	-	-	-	4	16	16	-	16	-	16	-	-	-	-	
	井戸	1	4	4	-	4	-	-	-	-	-	-	2	8	8	-	8	-	-	-	-	-	-	
	河底	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	-	-	1	-	2	-	-	2	2	
	湖底	3	3	-	-	3	-	3	3	3	2	2	1	1	-	-	1	-	1	1	1	1	1	
	表土	3	3	-	-	3	3	3	3	3	3	-	2	2	-	-	2	2	2	2	2	2	2	
	牛乳（原乳）	4	14	-	-	14	-	-	-	-	6	6	3	10	-	-	10	-	-	-	-	2	2	
	精米	3	3	-	3	3	-	3	-	-	2	1	3	3	-	3	3	-	3	-	-	2	2	
	野菜	ハクサイ、キャベツ	2	2	-	2	2	-	2	-	-	1	-	1	1	-	1	1	-	1	-	-	1	1
		ダイコン	1	1	-	1	1	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		ナガイモ、ハレショ	1	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	2	2	-	2	2	-	2	-	-	2	2
	牧草	2	4	-	-	4	-	4	-	-	4	2	4	8	-	-	8	-	-	-	-	4	4	
	デントコーン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
	淡水産食品	ワカサギ	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	1	1	
シジミ		1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
指標生物	松	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
海洋試験料	海	3	6	6	-	6	-	6	-	-	-	3	12	12	-	12	-	12	-	-	-	-		
	海底	3	3	-	-	3	-	3	3	3	-	1	1	-	-	1	-	1	1	1	-	-		
	海産食品	ヒラメ、カレイ	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	1	1	1	-	1	-	1	-	-	-	-	
		イカ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
		ホタテ、アワビ	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
		ヒラツメガニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
		ウニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	
	コンブ	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-		
指標生物	チガイソ	1	2	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	ムラサキインコガイ	1	2	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
比較対照（青森市）	大気浮遊じん	1	4	-	-	4	-	4	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	大気（水蒸気状）	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	大気（粒子状・気体状）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	表土	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	精米	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	指標生物	松	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	58	110	73	8	87	4	61	10	10	33	29	48	96	83	6	95	2	69	4	4	39	35		
		425											433											

・プルトニウムはプルトニウム-(239+240)である。
 ・ウランはウラン-234、ウラン-235及びウラン-238の合計である。

2 調査結果

平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）における環境放射線等の調査結果は、概ねこれまでと同じ水準^{※1}であった。

原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

なお、牧草及び海産食品中の γ 線放出核種分析結果に東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により、平常の変動幅を上回った測定値があったが、住民等の健康と安全に影響を与えるレベルではない。

(1) 空間放射線

モニタリングステーション、モニタリングポスト及びモニタリングカーにおける空間放射線量率測定並びにRPLD（蛍光ガラス線量計）による積算線量測定を実施した。

① 空間放射線量率（NaI）

(a) モニタリングステーション（図2-1）

各測定局における年間の平均値は19～27 nGy/h、最大値は58～91 nGy/h、最小値は9～17 nGy/hであった。また、月平均値は12～29 nGy/hであった。

平常の変動幅^{※2}を上回った測定値は、すべて降雨等^{※3}によるものと考えられる。

なお、平沼局及び泊局については、設置場所の移動（付6参照）により、一部の測定値が欠測^{※4}となった。

(b) モニタリングポスト（図2-2）

各測定局における年間の平均値は20～33 nGy/h、最大値は64～83 nGy/h、最小値は13～25 nGy/hであった。月平均値は17～34 nGy/hであった。

平常の変動幅を上回った測定値は、すべて降雨等によるものと考えられる。

なお、東北町役場局及び東北分庁舎局については、周辺で工事が行われたため、工事前後の測定値の変化について検討を行った（付1、付4参照）。

※1：「(概ね)これまでと同じ水準」

- ・「これまでと同じ水準」は、測定結果について、平常の変動幅の範囲内である場合及び範囲を外れた要因が、降雨、降雪等の気象要因、医療・産業に用いる放射性同位元素の影響等と判断される場合を示す。
- ・「概ねこれまでと同じ水準」は、県内外の原子力施設からの影響により、一部の測定値が平常の変動幅を上回ったが、全体的にはこれまでと同じ水準（住民等の線量が法令に定める周辺監視区域外の線量限度（年間1ミリシーベルト）を十分に下回るような水準にあること）と判断される場合を示す。

※2：「平常の変動幅」は、空間放射線量率（モニタリングステーション、モニタリングポスト）については「過去の測定値」の「平均値±(標準偏差の3倍)」、RPLDによる積算線量については「過去の測定値」の「最小値～最大値」。

※3：「降雨等」とは、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などである。空間放射線量率は、降雨雪時に雨や雪に取り込まれて地表面に落下したラドンの壊変生成物の影響により上昇し、積雪により大地からの放射線が遮へいされることにより低下する。また、医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響により測定値が上昇することがある。

※4：空間放射線量率（NaI）の欠測期間：平沼局 平成27年2月9日～2月20日、泊局 平成27年2月23日～3月5日

(c) モニタリングカー (図2-3)

定点測定における測定値は 12 ～ 23 nGy/h、走行測定における測定値は 11 ～ 26 nGy/hであり、過去の測定値^{※5}の範囲内であった。

② RPLDによる積算線量 (図2-4)

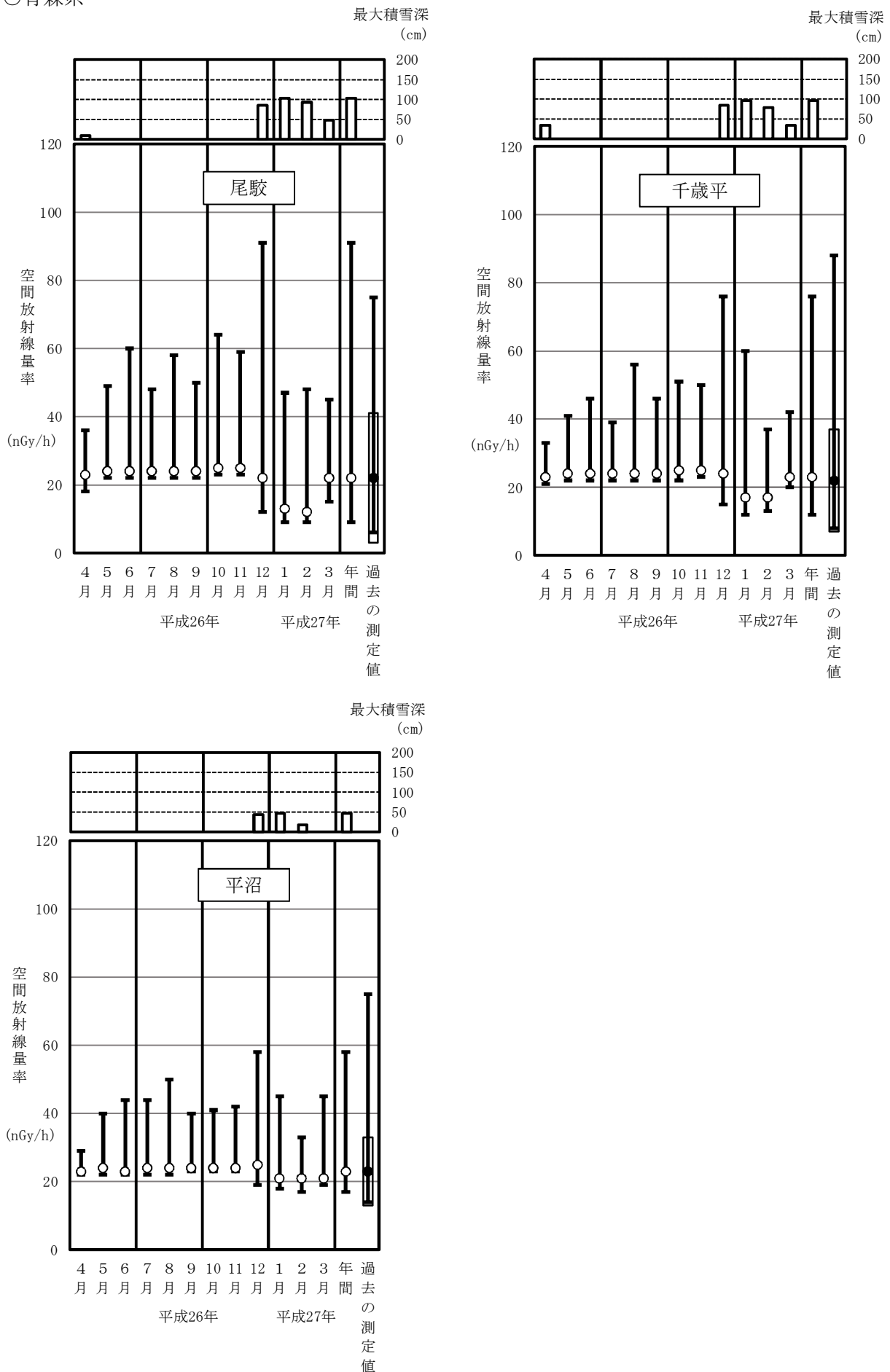
測定値は 74 ～ 117 μ Gy/91日 であり、すべて平常の変動幅の範囲内であった。

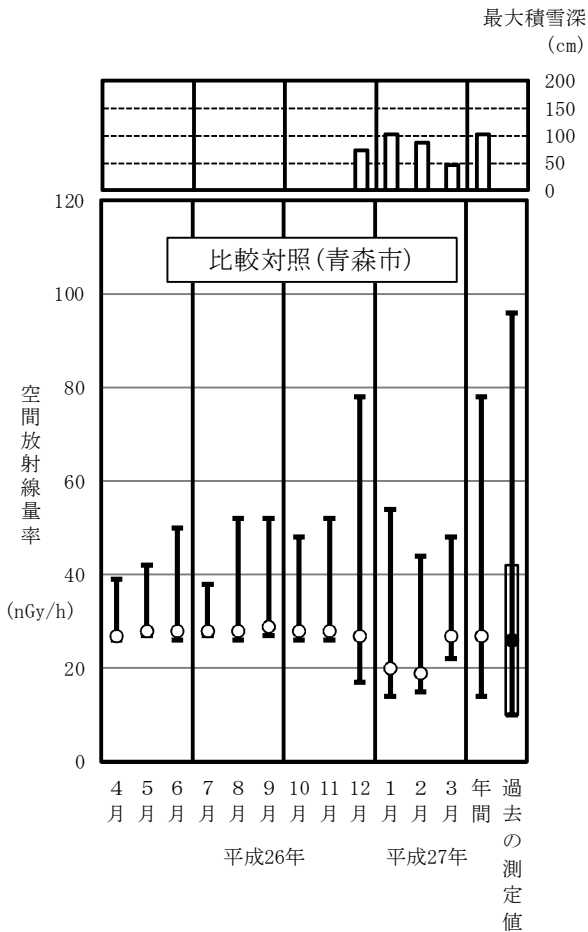
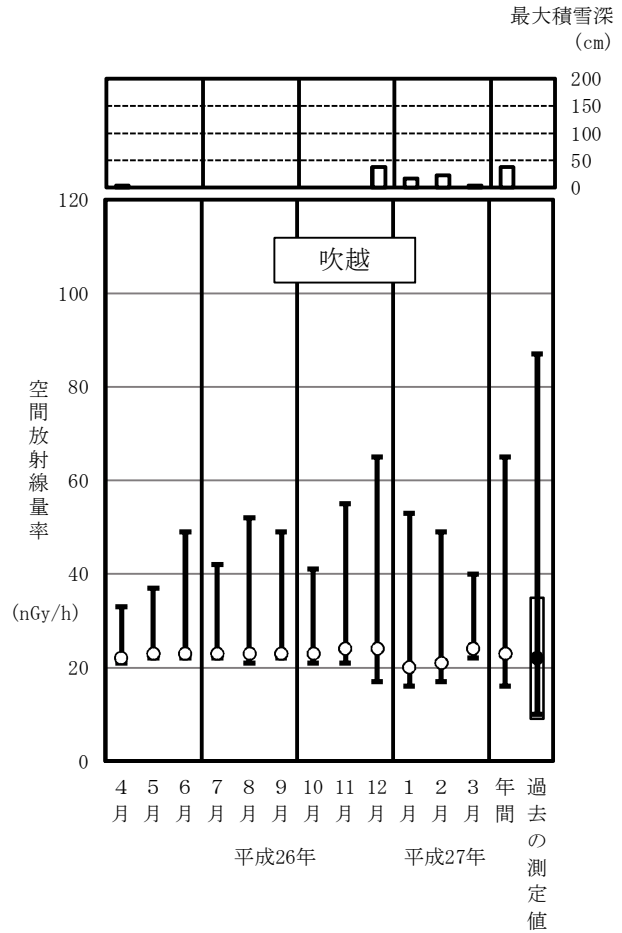
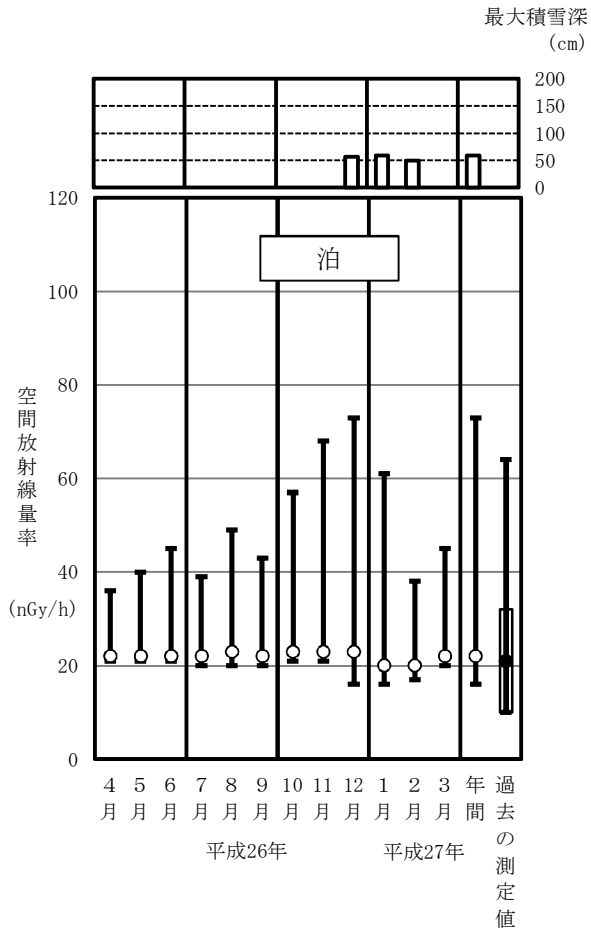
なお、県実施分の東北町役場及び事業者実施分の千歳平については、周辺で工事が行われたため、工事前後の測定値の変化について検討を行った (付1、付2参照)。また、平沼及び泊については、第4四半期の測定期間終了時に測定場所を移動した (付6参照)。

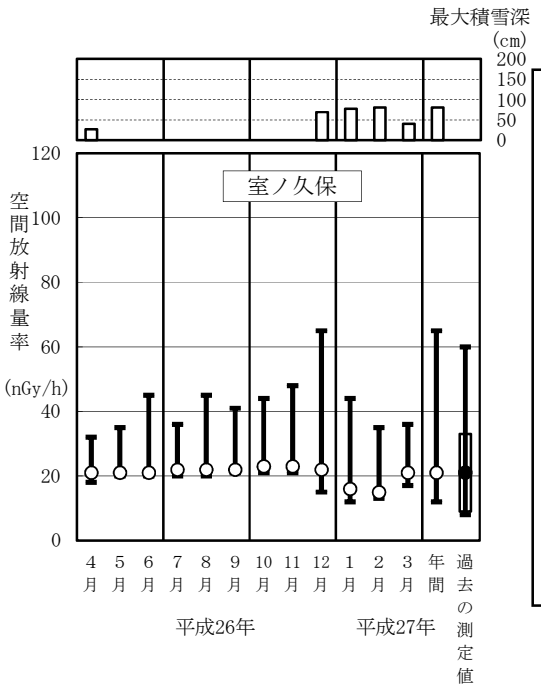
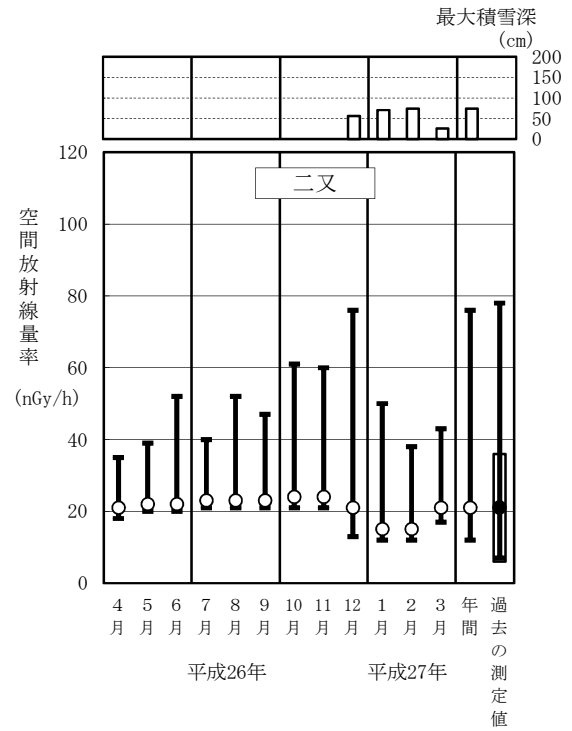
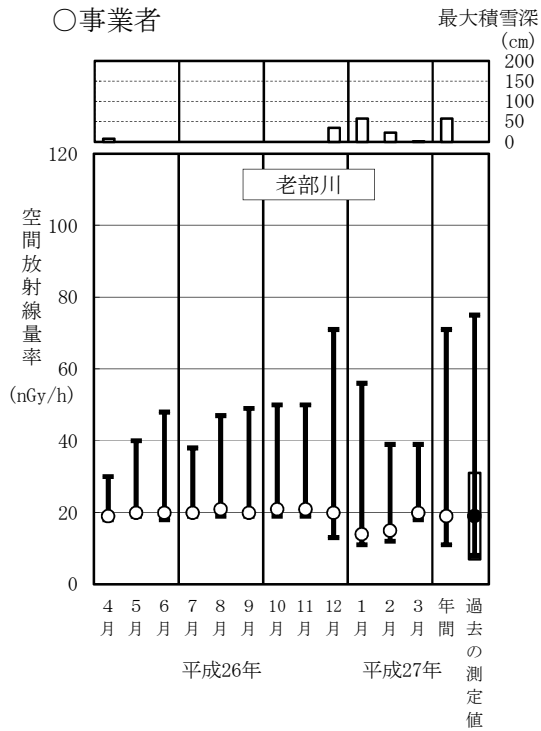
※5 : 「過去の測定値」は、空間放射線については前年度までの5年間 (平成21～25年度) の測定値。

図2-1 モニタリングステーションによる空間放射線量率（Na I）測定結果

○青森県







(参考)

過去の測定値の最大値とその測定年月

測定局	最大値 (nGy/h)	測定月
尾 駈	75	平成23年12月
千 歳 平	88	平成25年 8月
平 沼	75	平成25年 8月
泊	64	平成24年 8月 平成25年 8月
吹 越	87	平成23年12月
青 森	96	平成25年 2月
老 部 川	75	平成24年11月
二 又	78	平成23年12月
室ノ久保	60	平成22年12月

いづれも降雨等によるものと考えられる。

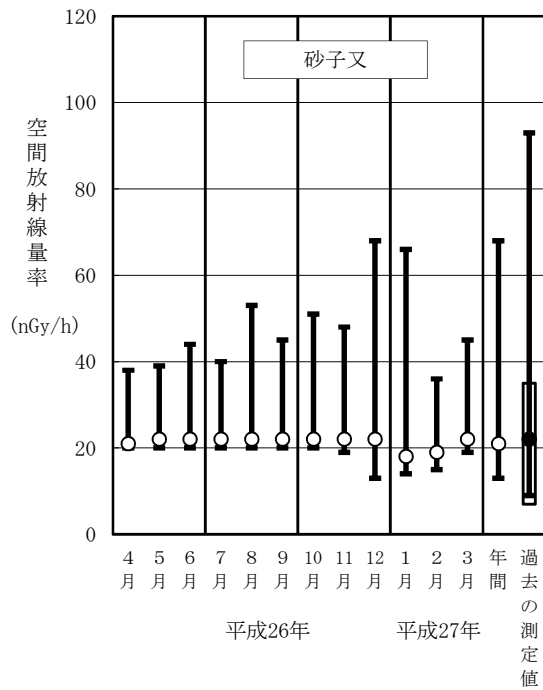
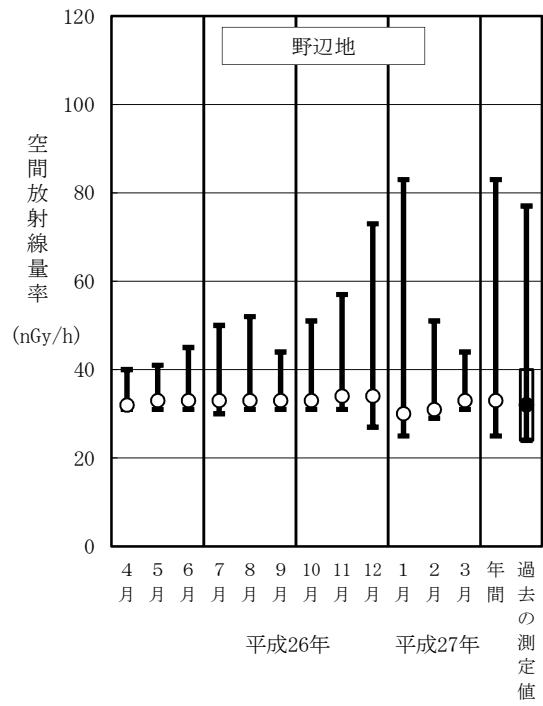
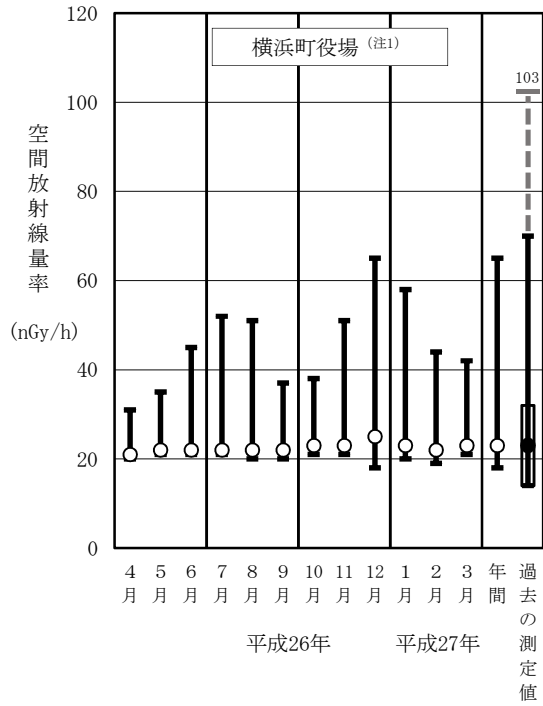
(注1) 平常の変動幅

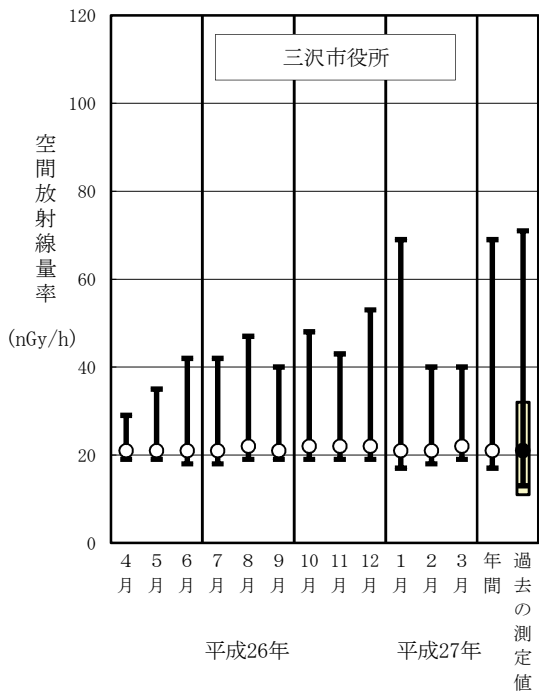
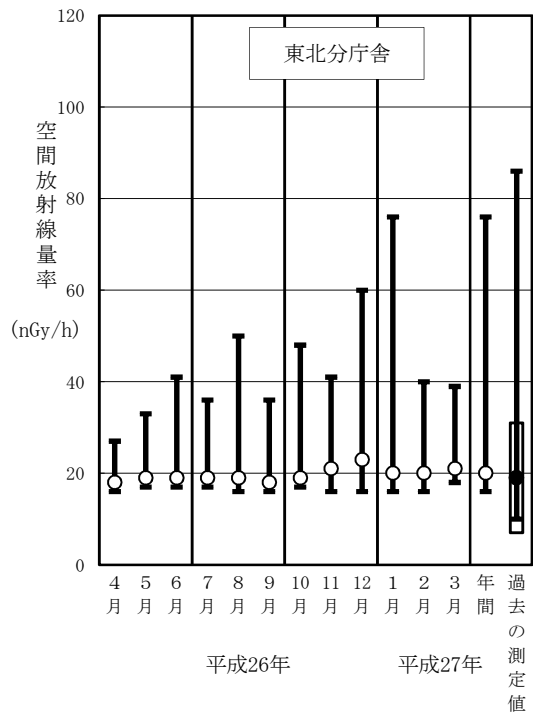
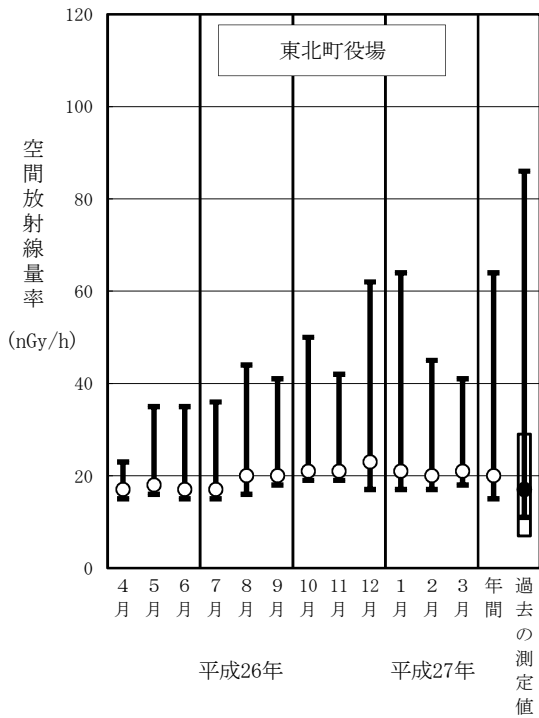
(注2) 過去の測定値

(注1) 「平常の変動幅」は、平成21～25年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。ただし、青森県実施分についてはそれぞれ平成23～25年度の測定値。

(注2) 「過去の測定値」は、平成21～25年度の測定値。ただし、青森県実施分についてはそれぞれ平成23～25年度の測定値。

図 2-2 モニタリングポストによる空間放射線量率 (Na I) 測定結果





(凡例)

(注3)
過去の測定値
(点線部分はX線非破壊検査の影響を含む測定値)

(参考)

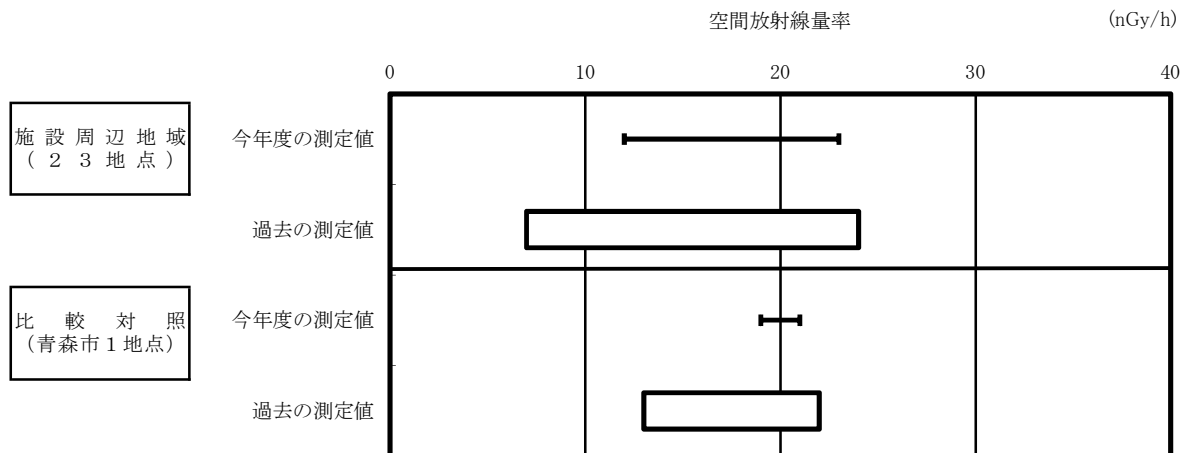
測定局	最大値 (nGy/h)	測定月
横浜町役場	70 (103) ^(注4)	平成22年11月 平成22年6月
野辺地	77	平成25年11月
砂子又	93	平成22年12月
東北町役場	86	平成25年2月
東北分庁舎	86	平成25年8月
三沢市役所	71	平成25年8月

いずれも降雨等によるものと考えられる。

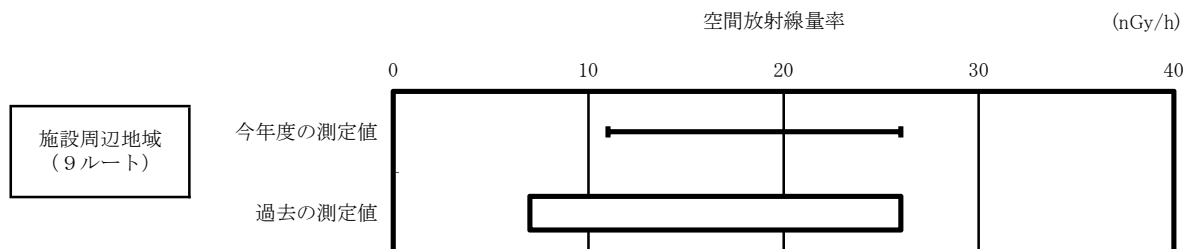
(注1) 横浜町役場局において、平成22年度に近隣の庁舎で実施されたX線非破壊検査の影響による空間放射線量率の一時的な上昇が認められた。
 (注2) 「平常の変動幅」は平成21～25年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
 (注3) 「過去の測定値」は平成21～25年度の測定値。ただし、東北町役場局及び東北分庁舎局についてはそれぞれ平成23～25年度の測定値。
 (注4) 最大値の()内の数値は、X線非破壊検査の影響が認められた測定値。

図2-3 モニタリングカーによる空間放射線量率測定結果

○定点測定



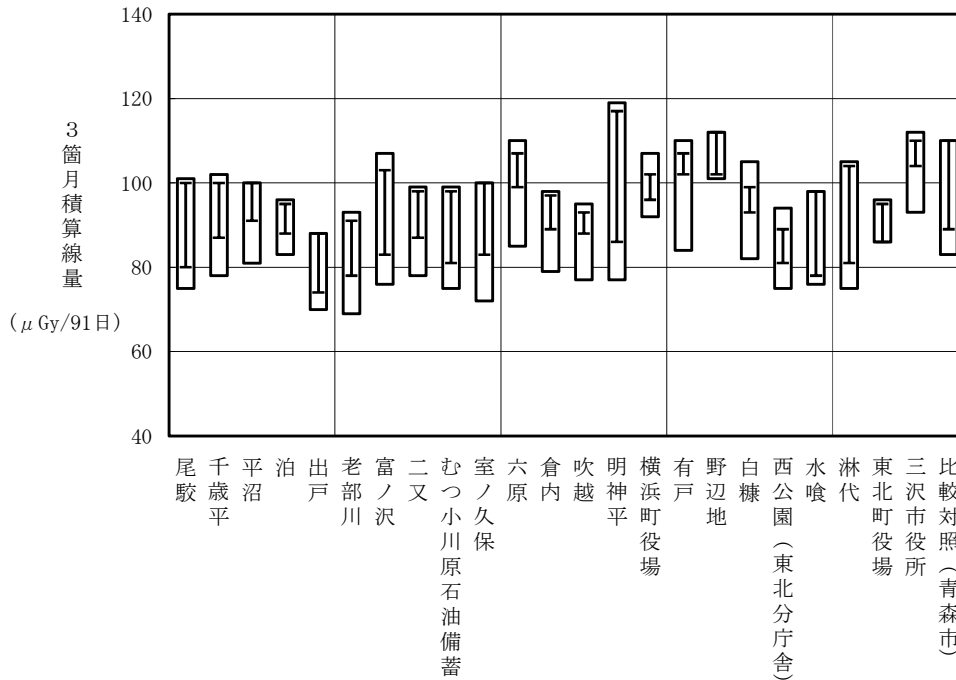
○走行測定



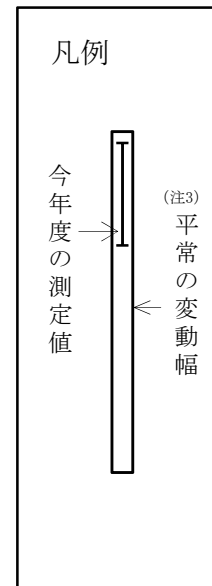
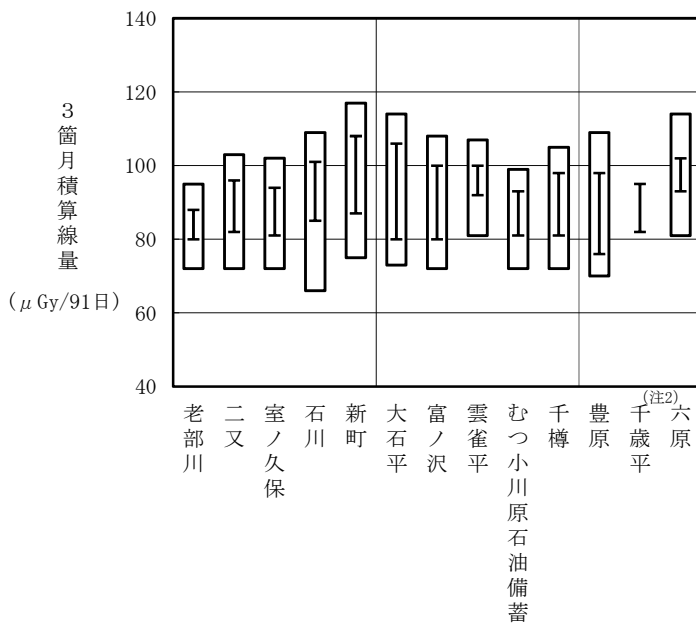
<p>凡例</p> <p>今年度の測定値 →</p> <p>過去の測定値 →</p>	<p>最小値</p> <p>最大値</p>	<p>測定値</p> <p>定点測定については10分値。</p> <p>走行測定については500m毎の平均値。</p> <p>過去の測定値</p> <p>平成21～25年度の測定値。</p>
	<p>最小値</p> <p>最大値</p>	

図2-4 RPLDによる積算線量計測定結果^(注1)

○青森県



○事業者



(注1) 測定値は、宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。

(注2) 千歳平において、周辺で行われた工事により測定値に変化が見られたことから、平常の変動幅については平成26年度第2四半期から新たにデータの蓄積を行い、1年間以上のデータが蓄積された時点で暫定的に平常の変動幅を設定する。

(注3) 「平常の変動幅」は平成21～25年度の3箇月積算線量の測定値の「最小値～最大値」。ただし、出戸及び東北町役場については平成22～25年度、老部川については平成23年10月～平成26年3月、野辺地については平成24～25年度、淋代については平成21年7月～平成26年3月の3箇月積算線量測定値の「最小値～最大値」。

(2) 環境試料中の放射能

大気浮遊じん中の全 α （アルファ）及び全 β （ベータ）放射能測定、大気中の気体状 β 放射能測定、大気中のヨウ素-131測定、機器分析及び放射化学分析を実施した。

なお、平沼局及び泊局については、設置場所の移動（付6参照）により、大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定、大気中の気体状 β 放射能測定及び大気中のヨウ素-131測定において一部の測定値が欠測^{※6}となった。また、 γ （ガンマ）線放出核種分析、ストロンチウム-90分析及びプルトニウム分析に係るこれらの測定局の大気浮遊じんについても、採取を行えない期間^{※7}が生じた。

① 大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定^{※8}（表2-1）

測定値は、全 α 放射能が * $\sim 0.25 \text{ mBq/m}^3$ 、全 β 放射能が * $\sim 1.2 \text{ mBq/m}^3$ であり、いずれも平常の変動幅^{※9}の範囲内であった。

② 大気中の気体状 β 放射能測定（表2-2）

測定値はすべて ND であり、平常の変動幅の範囲内であった。

③ 大気中のヨウ素-131測定（表2-3）

測定値はすべて ND であり、平常の変動幅の範囲内であった。

④ 機器分析及び放射化学分析

γ 線放出核種については、ゲルマニウム半導体検出器による機器分析を、トリチウム、炭素-14、ストロンチウム-90、ヨウ素-129、プルトニウム、アメリカシウム-241、キュリウム-244及びウランについては、放射化学分析を実施した。

○ γ 線放出核種分析（表2-4-1、表2-4-2）

セシウム-134の測定値はすべて ND であり、平常の変動幅の範囲内であった。

セシウム-137の測定値は、降下物（月間）が ND $\sim 0.4 \text{ Bq/m}^2$ 、湖底土が ND $\sim 9 \text{ Bq/kg}$ 乾、表土が ND $\sim 14 \text{ Bq/kg}$ 乾、牧草が ND $\sim \#1.7 \text{ Bq/kg}$ 生、ヒラメが ND、 $\#1.1 \text{ Bq/kg}$ 生、その他はすべて ND であった。このうち、牧草（横浜町）は $\#1.7 \text{ Bq/kg}$ 生、ヒラメ（六ヶ所村前面海域）は $\#1.1 \text{ Bq/kg}$ 生であり、平常の変動幅を上回った。これらは、平成23年3月に発生した東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響と考えられる。

その他の人工放射性核種については、すべて ND であった。

※6：設置場所の移動による欠測期間は以下のとおり。

大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定：平沼局 平成27年2月2日～2月23日、泊局 平成27年2月16日～3月4日

大気中の気体状 β 放射能測定：平沼局 平成27年2月9日～2月21日、泊局 平成27年2月23日～3月2日

大気中のヨウ素-131測定：平沼局 平成27年2月9日～2月23日、泊局 平成27年2月23日～3月9日

※7：大気浮遊じんの採取を行っていない期間は以下のとおり。

平沼：平成27年2月9日～2月21日、泊：平成27年2月23日～3月4日

※8：168時間集じん終了後72時間放置、1時間測定。

※9：「平常の変動幅」は、環境試料中の放射能については、調査を開始した年度から前年度までの測定値の「最小値～最大値」。

○ トリチウム分析 (表2-5)

測定値はすべて ND であり、平常の変動幅の範囲内であった。

○ 炭素-14分析 (表2-6)

精米の放射能濃度^{※10}が 86 ~ 91 Bq/kg 生、比放射能^{※10}が 0.23 ~ 0.24 Bq/g 炭素、ハクサイ・キャベツの放射能濃度が 3 ~ 6 Bq/kg 生、比放射能が 0.24 Bq/g 炭素、ダイコンの放射能濃度が 5 Bq/kg 生、比放射能が 0.24 Bq/g 炭素、ナガイモ・バレイショの放射能濃度が 17~18 Bq/kg 生、比放射能が 0.23 ~0.24 Bq/g 炭素であり、平常の変動幅の範囲内であった。

○ ストロンチウム-90分析 (表2-7)

降下物 (年間) が 0.12 Bq/m²、河川水が 0.5、1.0 mBq/ℓ、井戸水が ND ~ 7.1 mBq/ℓ、表土が ND ~ 2.6 Bq/kg 乾、ハクサイ・キャベツが 0.05 ~ 0.14 Bq/kg 生、ダイコンが 0.18 Bq/kg 生、ナガイモ・バレイショが ND~ 0.05 Bq/kg 生、牧草が 0.08 ~ 0.92 Bq/kg 生、デントコーンが 0.07 Bq/kg 生、その他はすべて ND であり、平常の変動幅の範囲内であった。

○ ヨウ素-129分析 (表2-8)

測定値は、これまでと同様にすべて ND であった。

○ プルトニウム分析 (表2-9)

降下物 (年間) が 0.005 Bq/m²、湖底土が 0.25 ~ 0.82 Bq/kg 乾、表土が 0.06 ~ 0.45 Bq/kg 乾、海底土が 0.20 ~ 0.58 Bq/kg 乾、ホタテ・アワビが ND、0.003 Bq/kg 生、チガイソが 0.005、0.006 Bq/kg 生、ムラサキインコガイが ND、0.003 Bq/kg 生、その他はすべて ND であり、平常の変動幅の範囲内であった。

○ アメリカシウム-241分析 (表2-10)

湖底土が 0.13 ~ 0.31 Bq/kg 乾、表土が ND~ 0.17 Bq/kg 乾、海底土が 0.07 ~ 0.20 Bq/kg 乾であり、平常の変動幅の範囲内であった。

○ キュリウム-244分析 (表2-11)

測定値は、これまでと同様にすべて ND であった。

○ ウラン分析 (表2-12)

降下物 (年間) が 1.5 Bq/m²、河川水が ND、6 mBq/ℓ、湖沼水が 27 ~ 63 mBq/ℓ、河底土が 4.4、20 Bq/kg 乾、湖底土が 62 ~ 130 Bq/kg 乾、表土が 6.2 ~ 92 Bq/kg 乾、ワカサギが 0.05 Bq/kg 生、松葉が 0.03 ~0.05 Bq/kg 生、その他はすべて ND であり、平常の変動幅の範囲内であった。

※10：炭素-14の比放射能は、試料中の炭素1gに含まれる炭素-14の放射エネルギー (Bq) であり、施設からの影響を評価する指標となる。放射能濃度 (Bq/kg生) は、比放射能 (Bq/g炭素) に試料中の炭素量 (g炭素/kg生) を乗じて求められるため、比放射能が等しい場合でも、試料中の炭素量 (g炭素/kg生) によって変動する。

表2-1 大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定結果(単位: mBq/m³)

実施者	測 定 局	測 定 値		平 常 の 変 動 幅	
		全 α	全 β	全 α	全 β
青 森 県	尾 駁	* ~ 0.18	0.14 ~ 1.2	* ~ 0.24	* ~ 1.7
	千 歳 平	0.016 ~ 0.15	0.21 ~ 1.2	* ~ 0.21	* ~ 1.6
	平 沼	* ~ 0.21	0.12 ~ 1.2	* ~ 0.23	* ~ 1.7
	泊	* ~ 0.14	0.13 ~ 1.1	* ~ 0.19	* ~ 1.5
	吹 越	* ~ 0.19	0.12 ~ 1.2	* ~ 0.20	* ~ 1.4
	比較対照(青森市)	0.020 ~ 0.18	* ~ 1.2	* ~ 0.22	* ~ 1.6
事 業 者	老 部 川	* ~ 0.16	* ~ 0.75	* ~ 0.22	* ~ 1.1
	二 又	* ~ 0.25	* ~ 0.85	* ~ 0.37	* ~ 1.3
	室 ノ 久 保	* ~ 0.19	* ~ 0.86	* ~ 0.21	* ~ 1.3

・168時間集じん終了後72時間放置、1時間測定。

・「平常の変動幅」は尾駁局及び二又局については平成元~25年度、それ以外は平成2~25年度の測定値の「最小値~最大値」。ただし、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる測定値は平常の変動幅の設定に用いていない(平成23年度報付16参照)。

表2-2 大気中の気体状 β 放射能測定結果(クリプトン-85換算)(単位: kBq/m³)

実施者	測 定 局	定 量 下 限 値	測 定 値	平常の変動幅	(参 考)	
					定量下限値以上 となった時間数 (うち、平常の変動 幅を上回った時間数)	アクティブ 試験開始前の 測定値の範囲
青 森 県	尾 駁	2	ND	ND ~ 9	0 (0)	ND
	千 歳 平		ND	ND ~ 4	0 (0)	ND
	平 沼		ND	ND	0 (0)	ND
	泊		ND	ND ~ 2	0 (0)	ND
	吹 越		ND	ND ~ 11	0 (0)	ND
	比較対照(青森市)		ND	ND	0 (0)	ND
事 業 者	老 部 川	2	ND	ND ~ 3	0 (0)	ND
	二 又		ND	ND ~ 8	0 (0)	ND
	室 ノ 久 保		ND	ND ~ 6	0 (0)	ND

・測定値は1時間値。

・測定時間数は1年間で約8,800時間。

・「平常の変動幅」は平成6~25年度の測定値の「最小値~最大値」。

・「アクティブ試験開始前の測定値の範囲」は平成6~17年度の測定値の「最小値~最大値」。

表2-3 大気中のヨウ素-131測定結果

(単位: mBq/m³)

実施者	測 定 局	定 量 下 限 値	測 定 値	平 常 の 変 動 幅
青 森 県	尾 駁	0.2	ND	ND
	千 歳 平		ND	ND
	平 沼		ND	ND
	泊		ND	ND
	吹 越		ND	ND
	比較対照(青森市)		ND	ND
事 業 者	老 部 川	0.2	ND	ND
	二 又		ND	ND
	室 ノ 久 保		ND	ND

・「平常の変動幅」の期間は、青森県実施分については平成17~25年度の測定値の「最小値~最大値」。事業者実施分については平成10~25年度の測定値の「最小値~最大値」。ただし、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる測定値は平常の変動幅の設定に用いていない(平成22年度報付10及び平成23年度報付16参照)。

表2-4-1 γ 線放出核種分析結果

試料の種類			単位	定量 下限値	セシウム-134				平常の変動幅		
					青森県		事業者				
					検体数	測定値	検体数	測定値			
陸	大気浮遊じん		mBq/m ³	0.02	20	ND	12	ND	ND		
	降下物(月間)		Bq/m ²	0.2	12	ND	-	-	ND		
	上	河川水		mBq/l	6	2	ND	2	ND	ND	
		湖沼水				8	ND	8	ND	ND	
		水道水				4	ND	16	ND	ND	
		井戸水				4	ND	8	ND	ND	
		河底土				Bq/kg 乾	3	2	ND	2	ND
	試料	湖底土		Bq/kg 乾	4	3	ND	1	ND	ND	
		表土		Bq/kg 乾	3	3	ND	2	ND	ND	
		牛乳(原乳)		Bq/l	0.4	14	ND	10	ND	ND	
精米		Bq/kg 生	0.4	3	ND	3	ND	ND			
野		ハクサイ、キャベツ		2	ND	1	ND	ND			
		ダイコン		1	ND	-	-	ND			
		ナガイモ、パレイショ		1	ND	2	ND	ND			
牧草		Bq/kg 生		4	ND	8	ND	ND			
デントコーン		Bq/kg 生		-	-	1	ND	ND			
食		ワカサギ		1	ND	1	ND	ND			
	シジミ			1	ND	-	-	ND			
	松葉			2	ND	-	-	ND			
海	海水			mBq/l	6	6	ND	12	ND	ND	
	海底土		Bq/kg 乾	3	3	ND	1	ND	ND		
	洋	海産	ヒラメ		Bq/kg 生	0.4	1	ND	1	ND	ND
			イカ				-	-	1	ND	ND
			ホタテ、アワビ				1	ND	1	ND	ND
		食	ヒラツメガニ				-	-	1	ND	ND
			ウニ				-	-	1	ND	ND
			コンブ				1	ND	1	ND	ND
品	チガイソ		2	ND	-	-	ND				
	ムラサキイソコガイ		2	ND	-	-	ND				
比較 対照 (青森市)	大気浮遊じん		mBq/m ³	0.02	4	ND	-	-	ND		
	表土		Bq/kg 乾	3	1	ND	-	-	ND		
	指標生物 松葉		Bq/kg 生	0.4	2	ND	-	-	ND		
計			-	-	110	-	96	-	-		

・測定対象核種はマンガン-54、コバルト-60、ルテニウム-106、セシウム-134、セシウム-137、セリウム-144、ベリリウム-7、カリウム-40、ビスマス-214、アクチニウム-228。

・「平常の変動幅」は平成元～25年度の測定値の「最小値～最大値」。ただし、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる測定値については平常の変動幅の設定に用いていない(平成22年度報付10、平成23年度報付16、平成24年度報付10及び平成25年度報付7参照)。

表2-4-2 γ線放出核種分析結果

試料の種類			単位	定量 下限値	セシウム-137						
					青森県		事業者		平常の変動幅		
					検体数	測定値	検体数	測定値			
陸	大気浮遊じん		mBq/m ³	0.02	20	ND	12	ND	ND		
	降下物(月間)		Bq/m ²	0.2	12	ND~0.4	-	-	ND ~ 0.7		
	上	河川水		mBq/l	6	2	ND	2	ND	ND	
		湖沼水				8	ND	8	ND	ND	
		水道水				4	ND	16	ND	ND	
		井戸水				4	ND	8	ND	ND	
	上	河底土		Bq/kg 乾	3	2	ND	2	ND	ND ~ 12	
		湖底土		Bq/kg 乾	4	3	ND~9	1	4	ND ~ 55	
	試料	表土		Bq/kg 乾	3	3	ND~14	2	10	ND ~ 36	
		牛乳(原乳)		Bq/l	0.4	14	ND	10	ND	ND	
精米		Bq/kg 生	0.4	3	ND	3	ND	ND ~ 1.0			
野				ハクサイ、キャベツ		2	ND	1	ND	ND	
				ダイコン		1	ND	-	-	ND	
				ナガイモ、パレイショ		1	ND	2	ND	ND	
牧草				4	ND~#1.7	8	ND~0.5	ND ~ 1.1			
デントコーン				-	-	1	ND	ND			
食				ワカサギ		1	ND	1	ND	ND	
				シジミ		1	ND	-	-	ND	
	松葉			2	ND	-	-	ND			
海	海水			mBq/l	6	6	ND	12	ND	ND ~ 6	
	海底土		Bq/kg 乾	3	3	ND	1	ND	ND		
	洋	海産食品	ヒラメ		Bq/kg 生	0.4	1	ND	1	#1.1	ND
			イカ				-	-	1	ND	ND
			ホタテ、アワビ				1	ND	1	ND	ND
			ヒラツメガニ				-	-	1	ND	ND
			ウニ				-	-	1	ND	ND
			コンブ				1	ND	1	ND	ND
指	チガイソ		2	ND	-	-	ND				
	ムラサキイソコガイ		2	ND	-	-	ND				
比較 対照 (青森市)	大気浮遊じん		mBq/m ³	0.02	4	ND	-	-	ND		
	表土		Bq/kg 乾	3	1	6	-	-	ND ~ 7		
	指標生物 松葉		Bq/kg 生	0.4	2	ND	-	-	ND		
計			-	-	110	-	96	-	-		

・測定対象核種はマンガン-54、コバルト-60、ルテニウム-106、セシウム-134、セシウム-137、セリウム-144、ベリリウム-7、カリウム-40、ビスマス-214、アクチニウム-228。

・「平常の変動幅」は平成元~25年度の測定値の「最小値~最大値」。ただし、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる測定値については平常の変動幅の設定に用いていない(平成22年度報付10、平成23年度報付16、平成24年度報付10及び平成25年度報付7参照)。

表2-5 トリチウム分析結果

試料の種類		単位	定量 下限値	青森県		事業者		平常の 変動幅	参考 アクティブ 試験開始前の 測定値の範囲
				検体数	測定値	検体数	測定値		
陸上試料	大気(水蒸気状)	mBq/m ³	40	24	ND	36	ND	ND	ND
	雨水	Bq/l	2	12	ND	-	-	ND	ND
	河川水			2	ND	2	ND	ND ~ 2	ND ~ 2
	湖沼水			8	ND	8	ND	ND ~ 3	ND
	水道水			4	ND	16	ND	ND ~ 3	ND ~ 3
	井戸水			4	ND	8	ND	ND ~ 3	ND ~ 3
海洋試料	海水	Bq/l	2	6	ND	12	ND	ND	ND
	海産食品 ヒラメ (自由水)	Bq/kg 生	2	1	ND	1	ND	ND ~ 3	ND
比較対照 (青森市)	大気(水蒸気状)	mBq/m ³	40	12	ND	-	-	ND	ND
計		-	-	73	-	83	-	-	-

- ・「平常の変動幅」は平成元～25年度の測定値の「最小値～最大値」。ヒラメ（自由水）については平成10～25年度の測定値の「最小値～最大値」。
- ・「アクティブ試験開始前の測定値の範囲」は平成元～17年度の測定値の「最小値～最大値」。ヒラメ（自由水）については平成10～17年度の測定値の「最小値～最大値」。

表2-6 炭素-14分析結果

試料の種類		単位	定量 下限値	青森県		事業者		平常の 変動幅	参考 アクティブ 試験開始前の 測定値の範囲	
				検体数	測定値	検体数	測定値			
陸上試料	精米	Bq/kg 生	2	3	86~91	3	86~89	85 ~ 110	87 ~ 110	
		Bq/g 炭素	0.004		0.24		0.23	0.23 ~ 0.26	0.23 ~ 0.26	
	野菜	ハクサイ、 キャベツ	Bq/kg 生	2	2	3, 6	1	4	3 ~ 7	3 ~ 7
			Bq/g 炭素	0.004		0.24		0.24	0.23 ~ 0.27	0.24 ~ 0.25
		ダイコン	Bq/kg 生	2	1	5	-	-	4 ~ 5	4
			Bq/g 炭素	0.004		0.24		-	0.23 ~ 0.24	0.24
	菜	ナガイモ、 パレイシヨ	Bq/kg 生	2	1	17	2	17, 18	14 ~ 21	16 ~ 18
			Bq/g 炭素	0.004		0.24		0.23, 0.24	0.23 ~ 0.26	0.24 ~ 0.25
比較対照 (青森市)	精米	Bq/kg 生	2	1	89	-	-	87 ~ 97	88 ~ 97	
		Bq/g 炭素	0.004		0.24		-	0.23 ~ 0.26	0.24 ~ 0.26	
計		-	-	8	-	6	-	-	-	

- ・「平常の変動幅」は精米については平成7～25年度の測定値の「最小値～最大値」。野菜については平成17～25年度の測定値の「最小値～最大値」。
- ・「アクティブ試験開始前の測定値の範囲」は精米については平成7～17年度の測定値の「最小値～最大値」。野菜については平成17年度の測定値の「最小値～最大値」。

表2-7 ストロンチウム-90分析結果

試料の種類		単位	定量 下限値	青 森 県		事 業 者		平常の変動幅		
				検体数	測 定 値	検体数	測 定 値			
陸	大気浮遊じん	mBq/m ³	0.004	20	ND	12	ND	ND		
	降下物(年間)	Bq/m ²	0.08	1	0.12	-	-	0.10 ~ 0.26		
	河川水	mBq/l	0.4	-	-	2	0.5, 1.0	0.4 ~ 2.5		
	湖沼水		2	4	ND	8	ND	ND ~ 3		
	水道水		0.4	4	4	ND	16	ND	ND ~ 1.5	
	井戸水			4	4	ND	8	ND~7.1	ND ~ 28	
	河底土	Bq/kg 乾	0.4	-	-	1	ND	ND ~ 0.6		
	湖底土			3	ND	1	ND	ND ~ 6.2		
	表土			3	ND~0.9	2	1.1, 2.6	ND ~ 9.1		
	牛乳(原乳)	Bq/l	0.04	14	ND	10	ND	ND ~ 0.08		
試	精米	Bq/kg 生	0.04	3	ND	3	ND	ND		
	野菜			ハクサイ、キャベツ	2	0.10, 0.14	1	0.05	ND ~ 0.87	
				ダイコン	1	0.18	-	-	0.09 ~ 0.81	
	菜			ナガイモ、パインヨ	1	0.05	2	ND	ND ~ 0.24	
				牧草	4	0.08~0.45	8	0.08~0.92	ND ~ 2.5	
	デントコーン			-	-	1	0.07	0.06 ~ 0.72		
	料			食淡水産品	ワカサギ	1	ND	1	ND	ND ~ 0.08
シジミ		1	ND	-	-	ND ~ 0.08				
海	海水	mBq/l	2	6	ND	12	ND	ND ~ 3		
	海底土	Bq/kg 乾	0.4	3	ND	1	ND	ND ~ 0.5		
	洋	海産食品	Bq/kg 生	0.04	1	ND	1	ND	ND	
					ヒラメ	-	-	1	ND	ND
					イカ	1	ND	1	ND	ND
					ホタテ、アワビ	-	-	1	ND	ND ~ 0.28
					ヒラツメガニ	-	-	1	ND	ND
					ウニ	1	ND	1	ND	ND ~ 0.14
					コンブ	2	ND	-	-	ND ~ 0.09
	料	指標生物	チガイソ	2	ND	-	-	ND		
ムラサキイソコガイ		2	ND	-	-	ND				
比較 対照 (青森市)	大気浮遊じん	mBq/m ³	0.004	4	ND	-	-	ND		
	表土	Bq/kg 乾	0.4	1	1.7	-	-	0.4 ~ 2.3		
計		-	-	87	-	95	-	-		

・「平常の変動幅」は平成元~25年度の測定値の「最小値~最大値」。ただし、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響が考えられる測定値については平常の変動幅の設定に用いていない(平成23年度報付16参照)。

表2-8 ヨウ素-129分析結果

試料の種類	単位	定量 下限値	青 森 県		事 業 者		平常の変動幅	
			検体数	測定値	検体数	測定値		
陸上試料	表 土	Bq/kg 乾	5	3	ND	2	ND	ND
比較対照 (青森市)	表 土			1	ND	-	-	ND
計	-	-	-	4	-	2	-	-

・「平常の変動幅」は、平成10～25年度の測定値の「最小値～最大値」。

表2-9 プルトニウム分析結果

試料の種類	単位	定量 下限値	青 森 県		事 業 者		平常の変動幅		
			検体数	測定値	検体数	測定値			
陸 上 試 料	大気浮遊じん	mBq/m ³	0.0002	20	ND	12	ND	ND	
	降下物(年間)	Bq/m ²	0.004	1	0.005	-	-	ND ~ 0.029	
	河 川 水	mBq/l	0.02	-	-	2	ND	ND	
	湖 沼 水			-	-	8	ND	ND	
	水道水				-	-	16	ND	ND
	河 底 土	Bq/kg 乾	0.04	-	-	2	ND	ND ~ 0.07	
	湖 底 土			3	0.25~0.60	1	0.82	0.23 ~ 8.0	
	表 土			3	0.06~0.45	2	0.24, 0.32	ND ~ 0.79	
	精 米			3	ND	3	ND	ND	
	野 菜	ハクサイ、キャベツ	Bq/kg 生	0.002	2	ND	1	ND	ND
		ダイコン			1	ND	-	-	ND
	牧 草	ナガイモ、パレインョ			1	ND	2	ND	ND
		ワカサギ			4	ND	-	-	ND
	食 品	シジミ			1	ND	1	ND	ND
シジミ				1	ND	-	-	ND	
海 洋 試 料	海 水	mBq/l	0.02	6	ND	12	ND	ND	
	海 底 土	Bq/kg 乾	0.04	3	0.20~0.58	1	0.40	0.11 ~ 0.90	
	海 産 物	ヒラメ	Bq/kg 生	0.002	1	ND	1	ND	ND
		イカ			-	-	1	ND	ND
	食 品	ホタテ、アワビ			1	ND	1	0.003	ND ~ 0.022
		ヒラツメガニ			-	-	1	ND	ND
		ウニ			-	-	1	ND	ND ~ 0.005
		コンブ			1	ND	1	ND	ND ~ 0.007
	指 標 生 物	チガイソ			2	0.005, 0.006	-	-	ND ~ 0.017
		ムササギノカイ			2	ND, 0.003	-	-	ND ~ 0.005
比 較 対 照 (青森市)	大気浮遊じん	mBq/m ³	0.0002	4	ND	-	-	ND	
	表 土	Bq/kg 乾	0.04	1	0.17	-	-	ND ~ 0.21	
計	-	-	-	61	-	69	-	-	

・ プルトニウムはプルトニウム-(239+240)。

・ 「平常の変動幅」は平成元～25年度の測定値の「最小値～最大値」。

表2-10 アメリカシウム-241分析結果

試料の種類	単位	定量 下限値	青 森 県		事 業 者		平常の変動幅	
			検体数	測定値	検体数	測定値		
陸上試料	湖底土	Bq/kg乾	0.04	3	0.13~0.23	1	0.31	0.12 ~ 1.1
	表土			3	ND~0.17	2	0.09, 0.14	ND ~ 0.25
海洋試料	海底土			3	0.07~0.20	1	0.15	ND ~ 0.34
比較対照 (青森市)	表土			1	0.05	-	-	0.04 ~ 0.10
計		-	-	10	-	4	-	-

・「平常の変動幅」は平成14~25年度の測定値の「最小値~最大値」。

表2-11 キュリウム-244分析結果

試料の種類	単位	定量 下限値	青 森 県		事 業 者		平常の変動幅	
			検体数	測定値	検体数	測定値		
陸上試料	湖底土	Bq/kg乾	0.04	3	ND	1	ND	ND
	表土			3	ND	2	ND	ND
海洋試料	海底土			3	ND	1	ND	ND
比較対照 (青森市)	表土			1	ND	-	-	ND
計		-	-	10	-	4	-	-

・「平常の変動幅」は平成14~25年度の「最小値~最大値」。

表2-12 ウラン分析結果

試料の種類	単位	定量 下限値	青 森 県		事 業 者		平常の変動幅		
			検体数	測定値	検体数	測定値			
陸 上 試 料	大気浮遊じん	mBq/m ³	0.0004	4	ND	12	ND	ND ~ 0.0035	
	降下物 (年間)	Bq/m ²	0.008	1	1.5	-	-	0.63 ~ 3.4	
	河川水	mBq/l	2	-	-	2	ND, 6	ND ~ 6	
	湖沼水			-	-	8	27~63	5 ~ 78	
	河底土	Bq/kg乾	0.8	-	-	2	4.4, 20	2.7 ~ 29	
	湖底土			2	62, 130	1	130	52 ~ 140	
	表土			3	6.2~92	2	41, 55	5.9 ~ 95	
	牛乳 (原乳)	Bq/l	0.02	6	ND	2	ND	ND	
	精米	Bq/kg生	0.02	2	ND	2	ND	ND	
	野菜			ハクサイ	1	ND	1	ND	ND
				ダイコン	1	ND	-	-	ND
	菜			ナガイモ、パレシヨ	-	-	2	ND	ND
	牧草			4	ND	4	ND	ND ~ 0.60	
	料	淡水産品	ワカサギ	-	-	1	0.05	0.03 ~ 0.10	
指標生物		松葉	2	0.03, 0.05	-	-	0.03 ~ 0.11		
比較対照 (青森市)	大気浮遊じん	mBq/m ³	0.0004	4	ND	-	-	ND ~ 0.0013	
	表土	Bq/kg乾	0.8	1	30	-	-	17 ~ 38	
	指標生物	松葉	Bq/kg生	0.02	2	0.03, 0.04	-	-	0.03 ~ 0.24
計		-	-	33	-	39	-	-	

・ウランはウラン-234、ウラン-235及びウラン-238の合計。

・「平常の変動幅」は平成元~25年度の測定値の「最小値~最大値」。

(3) 環境試料中のフッ素

モニタリングステーションにおける大気中の気体状フッ素測定及び環境試料中のフッ素測定を実施した。

① 大気中の気体状フッ素 (表2-13)

測定値は、これまでと同様にすべて ND であった。

② 環境試料中のフッ素 (表2-14)

湖沼水がND～0.8 mg/l、河底土が49～92 mg/kg 乾、湖底土が98～180 mg/kg 乾、表土が300、350 mg/kg 乾、牧草がND～0.3 mg/kg 生、ワカサギが12 mg/kg 生、その他はすべて ND であり、平常の変動幅^{※11}の範囲内であった。

※11：「平常の変動幅」は、環境試料中のフッ素については、調査を開始した年度から前年度までの測定値の「最小値～最大値」。

表2-13 大気中の気体状フッ素測定結果 (HFモニタによる連続測定)

(単位: ppb)

実施者	測定局	定量 下限値	測定値	平常の変動幅
青森県	尾駸	0.04	ND	ND
	比較対照(青森市)		ND	ND
事業者	老部川		ND	ND
	二又		ND	ND
	室ノ久保		ND	ND

・「平常の変動幅」は尾駸局及び二又局については平成元～25年度、それ以外は平成2～25年度の測定値の「最小値～最大値」。

表2-14 環境試料中のフッ素測定結果

試料の種類	単位	定量 下限値	青森県		事業者		平常の変動幅		
			検体数	測定値	検体数	測定値			
陸上 試料	大気(粒子状・気体状)	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.03	4	ND	8	ND	ND	
	河川水	mg/ℓ	0.1	2	ND	2	ND	ND	
	湖沼水			6	ND～0.7	8	0.3～0.8	ND～0.9	
	河底土	mg/kg 乾	5	2	49, 76	2	58, 92	33～150	
	湖底土			2	98, 160	1	180	10～200	
	表土			-	-	2	300, 350	230～390	
	牛乳(原乳)	mg/ℓ	0.1	6	ND	2	ND	ND～0.1	
	精米	mg/kg 生	0.1	1	ND	2	ND	ND～0.6	
	野菜			ハクサイ	-	-	1	ND	ND～0.4
				ナガレ、パインヨ	-	-	2	ND	ND～0.1
牧草	2			ND	4	ND～0.3	ND～0.5		
淡水産食品	ワカサギ	-	-	1	12	4.7～30			
比較対照 (青森市)	大気(粒子状・気体状)	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	0.03	4	ND	-	-	ND	
計	-	-	-	29	-	35	-	-	

・「平常の変動幅」は平成元～25年度の測定値の「最小値～最大値」。

3 線量の推定・評価

「原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果の評価方法(平成18年4月改訂、青森県)」及び「六ヶ所再処理工場の操業と線量評価について(平成18年2月、青森県)」に基づき、平成26年度1年間の施設起因の放射線及び放射性物質による周辺住民等の線量の推定・評価を行った。

(1) 測定結果に基づく線量

平成26年度の測定結果に基づき実施する「施設起因の線量の推定・評価」については、施設寄与が認められなかったので省略した。

(2) 放出源情報に基づく線量(事業者報告)

再処理工場から放出された放射性物質に起因する実効線量として、「再処理事業所 再処理事業指定申請書及びその添付書類(平成23年2月14日許可)」に示されるものと同様の計算モデル及びパラメータを用い、平成26年度1年間の放出実績をもとに推定・評価を行った結果は、表3のとおりであり、法令に定める周辺監視区域外の線量限度(年間1ミリシーベルト)を十分に下回っていた。

表3 放出源情報に基づく実効線量算出結果 (単位:mSv/年)

放射性気体廃棄物による実効線量	0.000030
放射性液体廃棄物による実効線量	0.0000013
合計	0.000031 ^{※12}

※12:放射性気体廃棄物による実効線量と放射性液体廃棄物による実効線量を加算しても、有効数字の取扱いの関係で一致しないことがある。

[参考]原子燃料サイクル施設から環境への影響を評価する場合の参考として、「自然放射線等による線量算出要領(平成18年4月改訂、青森県)」に基づき、平成26年度1年間の自然放射線等による実効線量を算出した結果は次のとおりであった(p.87参照)。

① 外部被ばくによる実効線量は、0.134～0.218ミリシーベルトであった。

なお、この結果は、宇宙線を除いた自然放射線等について算出したものであり、主に大地からの放射線によるものである。

② 内部被ばくによる預託実効線量(摂取後50年間の総線量)は、0.0082ミリシーベルトであった。

なお、この結果は、施設から放出される可能性のある放射性核種の代表的なものを対象核種として算出したものであり、今年度の算出結果は、セシウム-137、ストロンチウム-90及び炭素-14によるものであった。このうちセシウム-137は東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に、ストロンチウム-90は核実験等にそれぞれ起因するものであり、炭素-14については自然に存在するものと核実験等に起因するものである。

[過去の自然放射線等による実効線量]

外部被ばく:0.124～0.222ミリシーベルト(平成21～25年度)

内部被ばく:0.0068～0.0252ミリシーベルト(平成7～25年度)

4 総合評価

(1) 平成 26 年度の環境放射線等調査結果

平成 26 年度の環境放射線等調査結果は、概ねこれまでと同じ水準であった。

原子燃料サイクル施設からの影響は認められなかった。

(2) 施設起因の線量の推定・評価

① 測定結果に基づく線量

平成 26 年度の測定結果に基づき実施する「施設起因の線量の推定・評価」については、施設寄与が認められなかったため省略した。

② 放出源情報に基づく線量

平成 26 年度の原子燃料サイクル施設における放射性気体廃棄物、放射性液体廃棄物及びフッ素化合物の放出状況は、いずれも管理目標値を下回っていた。

再処理工場から放出された放射性物質に起因する実効線量として、平成 26 年度 1 年間の放出実績をもとに推定・評価を行った結果は 0.001 ミリシーベルト未満であり、法令に定める周辺監視区域外の線量限度（年間 1 ミリシーベルト）を十分に下回っていた。

(3) 平常の変動幅の設定

平成 26 年度の測定結果については、「原子燃料サイクル施設に係る環境放射線等モニタリング結果の評価方法」に定めている平常の変動幅^{※13}の設定に用いる。

ただし、空間放射線量率（NaI）のうち県実施分のモニタリングステーション平沼局及び泊局については、第 4 四半期に設置場所の移動を行い、また、RPLD による積算線量のうち県実施分の平沼及び泊については、第 4 四半期の測定期間終了時に測定場所を移動したことから、それぞれ新たにデータの蓄積を行い、1 年間以上のデータが蓄積された時点で暫定的に平常の変動幅を設定する（付 6 参照）。RPLD による積算線量のうち事業者実施分の千歳平については、周辺で行われた工事により測定値に変化が見られたため、第 2 四半期から新たにデータの蓄積を行い、1 年間以上のデータが蓄積された時点で暫定的に平常の変動幅を設定する（付 2 参照）。環境試料中の放射能調査のうち東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故の影響により平常の変動幅を上回った測定値については、平常の変動幅の設定に用いない（付 5 参照）。

平常の変動幅の設定に用いるかどうかについては、今後も個々の測定値について検討を行い判断する。また、測定値が平常の変動幅の範囲内であっても、施設寄与の有無について詳細に監視していく。

※13：「平常の変動幅」は、分析測定上の問題、環境の変化、施設からの予期しない放出などの原因調査が必要な測定値をふるい分けるために用いている（「平常の変動幅について（平成 11 年 7 月 23 日、青森県）」）。

資 料

核種等の記号及び名称

^3H , H-3	: トリチウム
^7Be , Be-7	: ベリリウム-7
^{14}C , C-14	: 炭素-14
^{40}K , K-40	: カリウム-40
^{51}Cr , Cr-51	: クロム-51
^{54}Mn , Mn-54	: マンガン-54
^{59}Fe , Fe-59	: 鉄-59
^{58}Co , Co-58	: コバルト-58
^{60}Co , Co-60	: コバルト-60
^{65}Zn , Zn-65	: 亜鉛-65
^{85}Kr , Kr-85	: クリプトン-85
^{90}Sr , Sr-90	: スترونチウム-90
^{95}Zr , Zr-95	: ジルコニウム-95
^{95}Nb , Nb-95	: ニオブ-95
^{103}Ru , Ru-103	: ルテニウム-103
^{106}Ru , Ru-106	: ルテニウム-106
^{125}Sb , Sb-125	: アンチモン-125
^{129}I , I-129	: ヨウ素-129
^{131}I , I-131	: ヨウ素-131
^{134}Cs , Cs-134	: セシウム-134
^{137}Cs , Cs-137	: セシウム-137
^{140}Ba , Ba-140	: バリウム-140
^{140}La , La-140	: ランタン-140
^{144}Ce , Ce-144	: セリウム-144
^{154}Eu , Eu-154	: ユロピウム-154
^{214}Bi , Bi-214	: ビスマス-214
^{228}Ac , Ac-228	: アクチニウム-228
U	: ウラン
^{234}U , U-234	: ウラン-234
^{235}U , U-235	: ウラン-235
^{238}U , U-238	: ウラン-238
$^{239+240}\text{Pu}$, Pu-(239+240)	: プルトニウム-(239+240)
^{241}Pu , Pu-241	: プルトニウム-241
^{241}Am , Am-241	: アメリシウム-241
^{244}Cm , Cm-244	: キュリウム-244
Pu(α)	: アルファ線を放出するプルトニウム
Am(α)	: アルファ線を放出するアメリシウム
Cm(α)	: アルファ線を放出するキュリウム
F	: フッ素

1. 青森県実施分測定結果

(1) 空間放射線量率測定結果

①モニタリングステーションによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果

(単位: nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数(単位: 時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数(単位: 時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等			
尾 駁	4 月	23	36	18	1.4	0	0	0	3~41 (22±19)	6~75	
	5 月	24	49	22	2.3	2	0	2			
	6 月	24	60	22	2.9	7	0	7			
	7 月	24	48	22	2.9	3	0	3			
	8 月	24	58	22	4.0	8	0	8			
	9 月	24	50	22	2.8	3	0	3			
	10 月	25	64	23	4.1	9	0	9			
	11 月	25	59	23	4.6	20	0	20			
	12 月	22	91	12	10.5	41	0	41			
	1 月	13	47	9	5.3	3	0	3			
	2 月	12	48	9	3.8	2	0	2			
	3 月	22	45	15	3.3	2	0	2			
	年間	22	91	9	6.2	98	0	98			
千歳平	4 月	23	33	21	0.9	0	0	0	7~37 (22±15)	8~88	
	5 月	24	41	22	2.0	1	0	1			
	6 月	24	46	22	2.1	4	0	4			
	7 月	24	39	22	2.5	6	0	6			
	8 月	24	56	22	3.5	12	0	12			
	9 月	24	46	22	2.3	1	0	1			
	10 月	25	51	22	3.5	12	0	12			
	11 月	25	50	23	3.8	19	0	19			
	12 月	24	76	15	9.0	60	0	60			
	1 月	17	60	12	5.4	12	0	12			
	2 月	17	37	13	3.6	0	0	0			
	3 月	23	42	20	2.4	1	0	1			
	年間	23	76	12	4.8	128	0	128			
平 沼	4 月	23	29	22	0.6	0	0	0	13~33 (23±10)	14~75	
	5 月	24	40	22	1.9	6	0	6			
	6 月	23	44	22	1.8	6	0	6			
	7 月	24	44	22	2.3	13	0	13			
	8 月	24	50	22	3.1	20	0	20			
	9 月	24	40	23	1.7	4	0	4			
	10 月	24	41	23	2.8	21	0	21			
	11 月	24	42	23	2.5	18	0	18			
	12 月	25	58	19	5.3	53	0	53			
	1 月	21	45	18	3.5	15	0	15			
	2 月*	21	33	17	2.3	0	0	0			
	3 月*	21	45	19	2.4	—	—	—			
	年間*	23	58	17	3.0	156	0	156			

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた原因と時間数(単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	備考
						施設起因	降雨等			
泊	4月	22	36	21	1.2	1	0	1	10~32 (21±11)	10~64
	5月	22	40	21	1.9	7	0	7		
	6月	22	45	21	2.5	10	0	10		
	7月	22	39	20	2.3	8	0	8		
	8月	23	49	20	3.3	15	0	15		
	9月	22	43	20	2.7	11	0	11		
	10月	23	57	21	3.4	21	0	21		
	11月	23	68	21	3.8	18	0	18		
	12月	23	73	16	8.1	68	0	68		
	1月	20	61	16	5.1	25	0	25		
	2月*	20	38	17	3.1	5	0	5		
	3月*	22	45	20	2.7	—	—	—		
	年間*	22	73	16	3.9	189	0	189		
吹越	4月	22	33	21	0.9	0	0	0	9~35 (22±13)	10~87
	5月	23	37	22	1.6	1	0	1		
	6月	23	49	22	2.8	10	0	10		
	7月	23	42	22	2.5	9	0	9		
	8月	23	52	21	3.5	11	0	11		
	9月	23	49	22	2.3	7	0	7		
	10月	23	41	21	2.3	3	0	3		
	11月	24	55	21	3.3	14	0	14		
	12月	24	65	17	8.0	60	0	60		
	1月	20	53	16	4.3	14	0	14		
	2月	21	49	17	4.0	10	0	10		
	3月	24	40	22	2.8	12	0	12		
	年間	23	65	16	3.8	151	0	151		
比較対照 (青森市)	4月	27	39	26	1.0	0	0	0	10~42 (26±16)	10~96
	5月	28	42	27	1.3	0	0	0		
	6月	28	50	26	1.7	3	0	3		
	7月	28	38	27	1.4	0	0	0		
	8月	28	52	26	2.5	4	0	4		
	9月	29	52	27	1.7	2	0	2		
	10月	28	48	26	2.4	5	0	5		
	11月	28	52	26	3.2	9	0	9		
	12月	27	78	17	8.8	48	0	48		
	1月	20	54	14	6.6	13	0	13		
	2月	19	44	15	3.8	1	0	1		
	3月	27	48	22	3.2	2	0	2		
	年間	27	78	14	5.0	87	0	87		

- ・測定値は1時間値。
 - ・測定時間数は1年間で約8,800時間。
 - ・測定値は、3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
 - ・「平常の変動幅」は、「過去の測定値」の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
 - ・「過去の測定値」の範囲は、平成23~25年度の測定値の「最小値~最大値」。
 - ・「施設起因」は、監視対象施設である原子燃料サイクル施設に起因するもの。
 - ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業等に用いる放射性同位元素の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
 - ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。
- ※：平沼局及び泊局については、設置場所の移動により、一部の測定値が欠測となった。
(欠測期間：平沼局 平成27年2月9日~2月20日、泊局 平成27年2月23日~3月5日)
また、移動後の平常の変動幅については、新たにデータの蓄積を行い、1年間以上のデータが蓄積された時点で暫定的に設定する。このため、平常の変動幅を外れた時間数には、移動後の数は含まない。

(参考) モニタリングステーションによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	備考
尾 駁	4 月	61	73	56	1.5	
	5 月	62	83	59	2.2	
	6 月	61	94	58	2.6	
	7 月	62	83	59	2.6	
	8 月	63	93	59	3.5	
	9 月	62	83	60	2.5	
	10 月	62	96	59	3.7	
	11 月	62	94	58	4.2	
	12 月	60	120	50	9.4	
	1 月	52	81	48	4.8	
	2 月	52	84	48	3.6	
	3 月	60	80	52	3.2	
	年 間	60	120	48	5.5	
千 歳 平	4 月	66	75	63	1.3	
	5 月	67	82	64	2.0	
	6 月	67	88	64	2.0	
	7 月	67	80	64	2.3	
	8 月	67	95	64	3.2	
	9 月	67	85	64	2.1	
	10 月	67	91	63	3.3	
	11 月	67	90	64	3.6	
	12 月	67	114	57	8.1	
	1 月	60	100	55	5.1	
	2 月	61	79	57	3.5	
	3 月	66	82	62	2.5	
	年 間	66	114	55	4.4	
平 沼	4 月	63	69	62	0.9	
	5 月	64	77	61	1.9	
	6 月	63	82	61	1.7	
	7 月	64	83	61	2.2	
	8 月	64	88	61	2.8	
	9 月	63	78	61	1.6	
	10 月	64	79	62	2.7	
	11 月	64	80	61	2.5	
	12 月	65	96	58	5.1	
	1 月	62	85	57	3.5	
	2 月 [※]	62	73	58	2.3	
	3 月	62	84	59	2.5	
	年 間 [※]	63	96	57	2.8	

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	備考
泊	4月	61	75	59	1.4	
	5月	62	78	59	1.9	
	6月	61	82	58	2.4	
	7月	61	76	58	2.2	
	8月	62	85	58	3.0	
	9月	61	80	58	2.6	
	10月	61	93	58	3.3	
	11月	62	104	58	3.7	
	12月	61	109	54	7.8	
	1月	59	99	54	5.0	
	2月 [※]	59	76	56	3.2	
	3月 [※]	61	83	57	2.7	
	年間 [※]	61	109	54	3.8	
吹越	4月	61	71	59	1.2	
	5月	62	73	59	1.6	
	6月	62	85	59	2.6	
	7月	62	79	59	2.3	
	8月	62	88	59	3.1	
	9月	62	85	59	2.1	
	10月	62	78	59	2.3	
	11月	62	91	58	3.2	
	12月	62	97	55	7.1	
	1月	60	87	55	4.0	
	2月	61	84	56	3.6	
	3月	62	78	59	2.8	
	年間	61	97	55	3.4	

・測定値は1時間値。

・測定値は3 MeVを超える高エネルギー成分を含む。

※：平沼局及び泊局については、設置場所の移動により、一部の測定値が欠測となった。

(欠測期間：平沼局 平成27年2月9日～2月20日、泊局 平成27年2月23日～3月5日)

②モニタリングポストによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果

(単位：nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数(単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数(単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等			
横浜町役場	4月	21	31	20	0.9	0	0	0	14~32 (23±9)	14~70 [14~103]	
	5月	22	35	21	1.5	2	0	2			
	6月	22	45	21	2.4	10	0	10			
	7月	22	52	21	2.8	17	0	17			
	8月	22	51	20	3.2	14	0	14			
	9月	22	37	20	2.1	7	0	7			
	10月	23	38	21	2.4	8	0	8			
	11月	23	51	21	3.2	21	0	21			
	12月	25	65	18	6.7	81	0	81			
	1月	23	58	20	4.4	36	0	36			
	2月	22	44	19	3.2	15	0	15			
	3月	23	42	21	3.0	21	0	21			
	年間	23	65	18	3.4	232	0	232			
野辺地	4月	32	40	31	0.7	0	0	0	24~40 (32±8)	24~77	
	5月	33	41	31	1.1	1	0	1			
	6月	33	45	31	1.2	4	0	4			
	7月	33	50	30	1.5	3	0	3			
	8月	33	52	31	2.0	11	0	11			
	9月	33	44	31	1.3	2	0	2			
	10月	33	51	31	2.0	10	0	10			
	11月	34	57	31	3.1	28	0	28			
	12月	34	73	27	7.1	101	0	101			
	1月	30	83	25	5.8	36	0	36			
	2月	31	51	29	2.5	8	0	8			
	3月	33	44	31	1.8	4	0	4			
	年間	33	83	25	3.3	208	0	208			
砂子又	4月	21	38	20	1.4	2	0	2	7~35 (21±14)	9~93	
	5月	22	39	20	2.1	2	0	2			
	6月	22	44	20	2.4	8	0	8			
	7月	22	40	20	2.2	3	0	3			
	8月	22	53	20	3.2	9	0	9			
	9月	22	45	20	2.3	3	0	3			
	10月	22	51	20	3.4	11	0	11			
	11月	22	48	19	3.5	10	0	10			
	12月	22	68	13	8.3	56	0	56			
	1月	18	66	14	5.2	14	0	14			
	2月	19	36	15	3.1	1	0	1			
	3月	22	45	19	3.5	12	0	12			
	年間	21	68	13	4.1	131	0	131			

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数(単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数(単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等			
東北町役場	4月	17	23	15	0.9	0	0	0	7~29 (18±11)	11~86	
	5月	18	35	16	1.8	3	0	3			
	6月	17	35	15	1.8	3	0	3			
	7月	17	36	15	2.5	7	0	7			
	8月	20	44	16	3.4	21	0	21			
	9月	20	41	18	2.0	9	0	9			
	10月	21	50	19	3.5	36	0	36			
	11月	21	42	19	2.9	24	0	24			
	12月	23	62	17	6.0	82	0	82			
	1月	21	64	17	5.4	32	0	32			
	2月	20	45	17	3.2	21	0	21			
	3月	21	41	18	2.7	20	0	20			
	年間	20	64	15	3.8	258	0	258			
東北分庁舎	4月	18	27	16	0.9	0	0	0	7~31 (19±12)	10~86	
	5月	19	33	17	1.9	2	0	2			
	6月	19	41	17	2.1	4	0	4			
	7月	19	36	17	2.7	11	0	11			
	8月	19	50	16	4.1	20	0	20			
	9月	18	36	16	2.0	4	0	4			
	10月	19	48	17	3.9	19	0	19			
	11月	21	41	16	3.2	17	0	17			
	12月	23	60	16	7.0	94	0	94			
	1月	20	76	16	5.9	27	0	27			
	2月	20	40	16	2.8	7	0	7			
	3月	21	39	18	2.4	9	0	9			
	年間	20	76	16	3.9	214	0	214			
三沢市役所	4月	21	29	19	0.9	0	0	0	11~32 (21±11)	13~71	
	5月	21	35	19	1.9	4	0	4			
	6月	21	42	18	1.8	4	0	4			
	7月	21	42	18	2.7	13	0	13			
	8月	22	47	19	3.5	24	0	24			
	9月	21	40	19	2.1	10	0	10			
	10月	22	48	19	3.3	20	0	20			
	11月	22	43	19	2.4	9	0	9			
	12月	22	53	19	4.4	38	0	38			
	1月	21	69	17	5.3	14	0	14			
	2月	21	40	18	2.8	9	0	9			
	3月	22	40	19	2.5	11	0	11			
	年間	21	69	17	3.1	156	0	156			

- ・測定値は1時間値。
- ・測定時間数は1年間で約8,800時間。
- ・測定値は3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・「平常の変動幅」は、「過去の測定値」の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・「過去の測定値」の範囲は、平成21~25年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ただし、東北町役場局と東北分庁舎局については平成23~25年度の測定値の「最小値~最大値」。
- 野辺地局と三沢市役所局については平成24~25年度の測定値の「最小値~最大値」。
- また、[]内の数値はX線非破壊検査の影響が認められた測定値を含む。
- ・「施設起因」は、監視対象施設である原子燃料サイクル施設に起因するもの。
- ・「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

③モニタリングカーによる空間放射線量率（NaI）測定結果

ア 定点測定

測定地点		空間放射線量率(nGy/h)				積雪深(cm)				備考
		第1 四 半 期	第2 四 半 期	第3 四 半 期	第4 四 半 期	第1 四 半 期	第2 四 半 期	第3 四 半 期	第4 四 半 期	
六ヶ所村	石川	19	18	17	16	0	0	0	6	
	出戸	15	15	15	15	0	0	0	1	
	老部川	14	14	15	12	0	0	0	6	
	尾駸	17	17	17	18	0	0	0	0	
	沖付	16	14	14	13	0	0	0	0	
	新納屋	14	14	14	14	0	0	0	9	
	新栄	18	18	17	15	0	0	0	0	
	市柳沼東畔	17	17	17	17	0	0	0	0	
	八森	19	18	18	18	0	0	0	0	
	六原	18	17	17	15	0	0	0	14	
	笹崎	23	23	23	20	0	0	0	0	
	千歳平	20	20	20	20	0	0	0	0	
	豊原	19	19	19	17	0	0	0	1	
	千樽	18	18	18	17	0	0	0	0	
	尾駸沼南畔	21	20	20	21	0	0	0	0	
弥栄平	20	20	20	20	0	0	0	0		
清掃センター	20	20	19	19	0	0	0	1		
富ノ沢	21	19	19	17	0	0	0	5		
横浜町	第一明神平	20	19	19	18	0	0	0	2	
	第二明神平	15	14	14	14	0	0	0	5	
	はまなす公園	15	15	14	14	0	0	0	4	
野辺地町	上目ノ越	19	20	19	17	0	0	0	0	
	北砂沼	14	15	13	13	0	0	0	0	
青森市	比較対照 (青森市)	21	19	20	19	0	0	0	0	

- ・測定値は10分値。
- ・降雨雪のない状況で測定。

イ 走行測定

測定地点	測定値の範囲(nGy/h)				備考
	第1 四 半 期	第2 四 半 期	第3 四 半 期	第4 四 半 期	
ルートA (千歳～平沼)	17 ～ 25	16 ～ 23	14 ～ 22	14 ～ 24	
ルートB (平沼～石川)	14 ～ 22	13 ～ 20	12 ～ 20	14 ～ 20	
ルートC (猿子沢～新納屋)	16 ～ 25	12 ～ 26	13 ～ 25	13 ～ 24	
ルートD (尾駸～中吹越)	14 ～ 24	16 ～ 23	14 ～ 23	15 ～ 22	
ルートE (中吹越～目ノ越)	14 ～ 19	13 ～ 18	14 ～ 18	16 ～ 21	
ルートF (目ノ越～室ノ久保)	15 ～ 22	15 ～ 21	13 ～ 20	14 ～ 22	
ルートG (二又～上弥栄)	18 ～ 22	18 ～ 21	17 ～ 21	12 ～ 16	
ルートH (森の踏切～沖付)	14 ～ 23	17 ～ 23	16 ～ 24	12 ～ 21	
ルートI (弥栄平～千歳)	17 ～ 21	15 ～ 24	15 ～ 22	11 ～ 19	

- ・測定値は500m毎の平均値。
- ・降雨雪のない状況で測定。

(2) 積算線量測定結果 (RPLD)

測定地点		年間積算線量 (μ Gy/365日)	3箇月積算線量 (μ Gy/91日)					備考
			第1 四半 期	第2 四半 期	第3 四半 期	第4 四半 期	平常の 変動幅	
六ヶ所村	尾駸	368	92	100	95	80	75 ~ 101	
	千歳平	376	92	100	96	87	78 ~ 102	
	平沼	377	92	100	94	91	81 ~ 100	
	泊	366	91	95	92	88	83 ~ 96	
	出戸	330	82	88	85	74	70 ~ 88	
	老部川	343	85	91	87	78	69 ~ 93	
	富ノ沢	383	97	103	99	83	76 ~ 107	
	二又	374	92	98	96	87	78 ~ 99	
	むつ小川原石油備蓄	365	90	98	94	81	75 ~ 99	
	室ノ久保	372	93	100	95	83	72 ~ 100	
六原	411	101	107	103	99	85 ~ 110		
倉内	373	92	97	95	89	79 ~ 98		
横浜町	吹越	361	88	93	90	90	77 ~ 95	
	明神平	421	108	117	108	86	77 ~ 119	
	横浜町役場	394	96	102	100	96	92 ~ 107	
野辺地町	有戸	419	102	107	105	103	84 ~ 110	
	野辺地	429	106	112	108	102	101 ~ 112	
東通村	白糠	383	93	99	96	93	82 ~ 105	
東北町	西公園 (東北分庁舎)	342	84	89	86	81	75 ~ 94	
	水喰	360	89	98	94	78	76 ~ 98	
	淋代	383	96	104	100	81	75 ~ 105	
	東北町役場	368	86	95	95	90	86 ~ 96	
三沢市	三沢市役所	428	106	110	106	104	93 ~ 112	
青森市	比較対照 (青森市)	407	103	110	104	89	83 ~ 110	

- ・ 測定値は宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。
 - ・ 「3箇月積算線量」は測定期間の測定値を91日あたりに換算し整数で示した値。
 - ・ 「年間積算線量」は各測定期間の測定値を合計した後、365日あたりに換算し整数で示した値。
 - ・ 「平常の変動幅」は平成21~25年度の3箇月積算線量の測定値の「最小値~最大値」。
- ただし、出戸及び東北町役場については平成22~25年度、老部川については平成23年10月~平成26年3月、野辺地については平成24~25年度、淋代については平成21年7月~平成26年3月の3箇月積算線量測定値の「最小値~最大値」。

(3) 大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定結果(単位：mBq/m³)

測定局	採取期間	検体数	全 α			全 β			備考
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	
尾 駁	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	< 0.087	0.18	*	0.53	0.88	0.14	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	< 0.053	0.11	*	0.56	1.0	0.25	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	0.057	0.14	0.026	0.78	1.1	0.56	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	0.061	0.14	0.019	0.85	1.2	0.26	
	年 間	52	< 0.064	0.18	*	0.68	1.2	0.14	
千歳平	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	0.083	0.15	0.022	0.52	0.85	0.21	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	0.046	0.10	0.019	0.57	1.0	0.26	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	0.058	0.10	0.030	0.78	1.1	0.57	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	0.055	0.10	0.016	0.82	1.2	0.28	
	年 間	52	0.060	0.15	0.016	0.67	1.2	0.21	
平 沼	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	0.10	0.21	0.015	0.55	0.92	0.12	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	< 0.053	0.12	*	0.53	0.99	0.23	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	0.059	0.13	0.019	0.76	1.0	0.48	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30 [※]	10	0.076	0.19	0.037	0.88	1.2	0.71	
	年 間 [※]	49	< 0.072	0.21	*	0.67	1.2	0.12	
泊	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	< 0.065	0.14	*	0.51	0.84	0.13	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	< 0.038	0.11	*	0.54	0.99	0.21	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	0.047	0.090	0.016	0.76	0.97	0.50	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30 [※]	11	0.055	0.11	0.022	0.83	1.1	0.67	
	年 間 [※]	50	< 0.051	0.14	*	0.65	1.1	0.13	
吹 越	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	0.096	0.19	0.022	0.57	0.86	0.12	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	< 0.061	0.14	*	0.56	0.94	0.22	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	0.060	0.13	0.018	0.79	1.0	0.57	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	0.065	0.18	0.029	0.84	1.2	0.25	
	年 間	52	< 0.070	0.19	*	0.69	1.2	0.12	
比較対照 (青森市)	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	0.093	0.18	0.020	< 0.56	0.86	*	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	0.061	0.10	0.025	0.59	0.98	0.23	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	0.064	0.14	0.030	0.74	0.99	0.50	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	0.060	0.12	0.032	0.80	1.2	0.32	
	年 間	52	0.069	0.18	0.020	< 0.67	1.2	*	

- ・168時間集じん後72時間放置、1時間測定。
- ・平均値の算出においては、測定値に検出限界以下のものが含まれる場合、そのときの検出限界値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。全ての平均値が検出限界以下の場合、平均値も検出限界以下とし「*」と表示する。

※：平沼局及び泊局については、設置場所の移動により、一部の測定値が欠測となった。

(欠測期間：平沼局 平成27年2月2日～2月23日、泊局 平成27年2月23日～3月4日)

(4) 大気中の気体状β放射能測定結果(クリプトン-85換算)

(単位: kBq/m³)

測定局	測定月	平均	最大	最小	平常の変動幅	(参考)		備考
						定量下限値以上 となった時間数 (うち、平常の変動幅 を上回った時間数)	アクティブ 試験開始前 の測定値の 範囲	
尾 駁	4 月	ND	ND	ND	ND~9	0	(0)	ND
	5 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	6 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	7 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	8 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	9 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	10 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	11 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	12 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	1 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	2 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	3 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	年間	ND	ND	ND		0	(0)	
千 歳 平	4 月	ND	ND	ND	ND~4	0	(0)	ND
	5 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	6 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	7 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	8 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	9 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	10 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	11 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	12 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	1 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	2 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	3 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	年間	ND	ND	ND		0	(0)	
平 沼	4 月	ND	ND	ND	ND	0	(0)	ND
	5 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	6 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	7 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	8 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	9 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	10 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	11 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	12 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	1 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	2 月*	ND	ND	ND		0	(0)	
	3 月	ND	ND	ND		0	(0)	
	年間*	ND	ND	ND		0	(0)	

測定局	測定月	平均	最大	最小	平常の変動幅	(参考)		備考
						定量下限値以上 となった時間数 (うち、平常の変動幅 を上回った時間数)	アクティブ 試験開始前 の測定値の 範囲	
泊	4月	ND	ND	ND	ND~2	0	(0)	ND
	5月	ND	ND	ND		0	(0)	
	6月	ND	ND	ND		0	(0)	
	7月	ND	ND	ND		0	(0)	
	8月	ND	ND	ND		0	(0)	
	9月	ND	ND	ND		0	(0)	
	10月	ND	ND	ND		0	(0)	
	11月	ND	ND	ND		0	(0)	
	12月	ND	ND	ND		0	(0)	
	1月	ND	ND	ND		0	(0)	
	2月*	ND	ND	ND		0	(0)	
3月*	ND	ND	ND	0	(0)			
	年間*	ND	ND	ND	0	(0)		
吹越	4月	ND	ND	ND	ND~11	0	(0)	ND
	5月	ND	ND	ND		0	(0)	
	6月	ND	ND	ND		0	(0)	
	7月	ND	ND	ND		0	(0)	
	8月	ND	ND	ND		0	(0)	
	9月	ND	ND	ND		0	(0)	
	10月	ND	ND	ND		0	(0)	
	11月	ND	ND	ND		0	(0)	
	12月	ND	ND	ND		0	(0)	
	1月	ND	ND	ND		0	(0)	
	2月	ND	ND	ND		0	(0)	
3月	ND	ND	ND	0	(0)			
	年間	ND	ND	ND	0	(0)		
比較対照 (青森)	4月	ND	ND	ND	ND	0	(0)	ND
	5月	ND	ND	ND		0	(0)	
	6月	ND	ND	ND		0	(0)	
	7月	ND	ND	ND		0	(0)	
	8月	ND	ND	ND		0	(0)	
	9月	ND	ND	ND		0	(0)	
	10月	ND	ND	ND		0	(0)	
	11月	ND	ND	ND		0	(0)	
	12月	ND	ND	ND		0	(0)	
	1月	ND	ND	ND		0	(0)	
	2月	ND	ND	ND		0	(0)	
3月	ND	ND	ND	0	(0)			
	年間	ND	ND	ND	0	(0)		

- ・測定値は1時間値。
 - ・測定時間数は1年間で約8,800時間。
 - ・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし「ND」と表示する。
 - ・「平常の変動幅」は、平成6~25年度の測定値の「最小値~最大値」。
 - ・「アクティブ試験開始前の測定値の範囲」は、平成6~17年度の測定値。
- ※：平沼局及び泊局については、設置場所の移動により、一部の測定値が欠測となった。
(欠測期間：平沼局 平成27年2月9日~2月21日、泊局 平成27年2月23日~3月2日)。

(5) 大気中のヨウ素-131測定結果

(単位：mBq/m³)

測定局	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
尾 駁	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	ND	ND	ND	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	ND	ND	ND	
	年 間	52	ND	ND	ND	
千 歳 平	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	ND	ND	ND	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	ND	ND	ND	
	年 間	52	ND	ND	ND	
平 沼	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	ND	ND	ND	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30 [※]	11	ND	ND	ND	
	年 間 [※]	50	ND	ND	ND	
泊	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	ND	ND	ND	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30 [※]	11	ND	ND	ND	
	年 間 [※]	50	ND	ND	ND	
吹 越	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	ND	ND	ND	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	ND	ND	ND	
	年 間	52	ND	ND	ND	
比較対照 (青 森)	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	ND	ND	ND	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	ND	ND	ND	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	ND	ND	ND	
	年 間	52	ND	ND	ND	

・測定値は試料採取日に補正した値。

・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として、算出し平均値に「<」を付ける。また、すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし、「ND」と表示する。

※：平沼局及び泊局については、設置場所の移動により、一部の測定値が欠測となった。
(欠測期間：平沼局 平成27年2月9日～2月23日、泊局 平成27年2月23日～3月9日)

(6) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析									
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac
大 気 浮 遊 塵	尾 駁	H26. 3. 31～ H26. 6. 30	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—
		H26. 6. 30～ H26. 9. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—	
		H26. 9. 29～ H26. 12. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.5	ND	—	—	
		H26. 12. 29～ H27. 3. 30		ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—	
	千 歳 平	H26. 3. 31～ H26. 6. 30		ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—	
		H26. 6. 30～ H26. 9. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—	
		H26. 9. 29～ H26. 12. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.5	ND	—	—	
		H26. 12. 29～ H27. 3. 30		ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—	
	平 沼	H26. 3. 31～ H26. 6. 30		ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—	
		H26. 6. 30～ H26. 9. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—	
		H26. 9. 29～ H26. 12. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.5	ND	—	—	
		H26. 12. 29～ H27. 3. 30*		ND	ND	ND	ND	ND	2.2	ND	—	—	
	泊	H26. 3. 31～ H26. 6. 30		ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	—	—	
		H26. 6. 30～ H26. 9. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—	
		H26. 9. 29～ H26. 12. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.6	ND	—	—	
		H26. 12. 29～ H27. 3. 30*		ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	—	—	
	横 浜 町	H26. 3. 31～ H26. 6. 30		ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—	
		H26. 6. 30～ H26. 9. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—	
		H26. 9. 29～ H25. 12. 29		ND	ND	ND	ND	ND	2.6	ND	—	—	
		H26. 12. 29～ H27. 3. 30		ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—	
比 較 対 照 (青 森 市)	H26. 3. 31～ H26. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—			
	H26. 6. 30～ H26. 9. 29	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—			
	H26. 9. 29～ H26. 12. 29	ND	ND	ND	ND	ND	2.5	ND	—	—			
	H26. 12. 29～ H27. 3. 30	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—			

放 射 化 学 分 析								備 考
³ H	¹⁴ C	⁹⁰ S r	¹²⁹ I	²³⁹⁺²⁴⁰ P u	²⁴¹ A m	²⁴⁴ C m	U	
-	-	ND	-	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	-	-	ND	
-	-	ND	-	ND	-	-	ND	

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析												
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac			
雨	水	千歳平	Bq/ℓ	H26. 3. 31～ H26. 4. 30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 4. 30～ H26. 5. 30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 5. 30～ H26. 6. 30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 6. 30～ H26. 7. 31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 7. 31～ H26. 8. 29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 8. 29～ H26. 9. 30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 9. 30～ H26. 10. 31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 10. 31～ H26. 11. 28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 11. 28～ H26. 12. 26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H26. 12. 26～ H27. 1. 30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
				H27. 1. 30～ H27. 2. 27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
H27. 2. 27～ H27. 3. 31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
降下物	千歳平	千歳平	Bq/m ²	H26. 3. 31～ H26. 4. 30	ND	ND	ND	ND	0.4	ND	44	14	—	—		
				H26. 4. 30～ H26. 5. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	130	ND	—	—		
				H26. 5. 30～ H26. 6. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	190	ND	—	—		
				H26. 6. 30～ H26. 7. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	ND	—	—		
				H26. 7. 31～ H26. 8. 29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	250	ND	—	—		
				H26. 8. 29～ H26. 9. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	95	ND	—	—		
				H26. 9. 30～ H26. 10. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	160	ND	—	—		
				H26. 10. 31～ H26. 11. 28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	ND	—	—		
				H26. 11. 28～ H26. 12. 26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	340	ND	—	—		
				H26. 12. 26～ H27. 1. 30	ND	ND	ND	ND	ND	ND	270	ND	—	—		
				H27. 1. 30～ H27. 2. 27	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	ND	—	—		
H27. 2. 27～ H27. 3. 31	ND	ND	ND	ND	ND	ND	130	ND	—	—						
H26. 3. 31～ H27. 3. 31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析										
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	
河川水	老部川流	H26.10.22	mBq/ℓ トリチウム については Bq/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—
	老部川流	H26.10.22		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—
湖沼水	尾駁沼	H26.4.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26.7.17		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26.10.15		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26.12.4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
	鷹架沼	H26.4.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26.10.15		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
小川原湖	H26.4.25	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	370	—	—	
	H26.10.21	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	390	—	—	
水道水	尾駁	H26.4.8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H26.7.8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H26.10.8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H27.1.6		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
井戸水	尾駁	H26.4.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	150	—	—		
		H26.7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	160	—	—		
		H26.10.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	150	—	—		
		H27.1.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	150	—	—		
河底土	老部川流	H26.10.22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	74	ND	ND		
	老部川流	H26.10.22	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	ND	ND		
湖底土	尾駁沼	H26.10.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	290	ND	ND		
	鷹架沼	H26.10.15	ND	ND	ND	ND	9	ND	ND	210	ND	ND		
	小川原湖	H26.10.21	ND	ND	ND	ND	5	ND	ND	190	ND	ND		
表土	尾駁	H26.7.29	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	ND	ND		
	千歳平	H26.7.22	ND	ND	ND	ND	3	ND	ND	170	ND	ND		
	横浜町	H26.7.15	ND	ND	ND	ND	14	ND	ND	310	22	34		
	比較対照 (青森市)	H26.7.14	ND	ND	ND	ND	6	ND	ND	280	16	25		

放射化学分析								備考
³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	
ND	-	-	-	-	-	-	-	
ND	-	-	-	-	-	-	-	
ND	-	ND	-	-	-	-	-	塩分 10
ND	-	ND	-	-	-	-	-	塩分 20
ND	-	ND	-	-	-	-	-	塩分 19
ND	-	ND	-	-	-	-	-	塩分 20
ND	-	-	-	-	-	-	-	塩分 2.3
ND	-	-	-	-	-	-	-	塩分 7.6
ND	-	-	-	-	-	-	-	(海水の塩分は約35)
ND	-	-	-	-	-	-	-	
ND	-	ND	-	-	-	-	-	
ND	-	ND	-	-	-	-	-	
ND	-	ND	-	-	-	-	-	
ND	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	0.60	0.23	ND	130	
-	-	ND	-	0.48	0.23	ND	62	
-	-	ND	-	0.25	0.13	ND	-	
-	-	0.8	ND	0.06	ND	ND	6.2	
-	-	ND	ND	0.11	0.05	ND	13	
-	-	0.9	ND	0.45	0.17	ND	92	
-	-	1.7	ND	0.17	0.05	ND	30	

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析										
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	
牛乳(原乳)	二又	H26. 4. 17	Bq/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—	
		H26. 10. 15		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	48	—	—	
	庄内	H26. 4. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—	
		H26. 7. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—	
		H26. 10. 6		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	50	—	—	
		H27. 1. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—	
		H26. 4. 17		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	48	—	—	
	横浜町	H26. 7. 10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	51	—	—	
		H26. 10. 15		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	48	—	—	
		H27. 1. 14		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	50	—	—	
		H26. 4. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	50	—	—	
	東北町	H26. 7. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—	
		H26. 10. 6		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—	
		H27. 1. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	48	—	—	
		H26. 9. 20		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	25	—	—	
	精米	千樽		H26. 10. 9	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	27	—
野辺地町			H26. 10. 7	ND		ND	ND	ND	ND	ND	24	—	—	
比較対照(青森市)			H26. 9. 21	—		—	—	—	—	—	—	—	—	
ハクサイ			出戸	H26. 10. 16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	63	—
ダイコン		出戸	H26. 10. 16	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	63	—	—
ナガイモ	東北町	H26. 11. 26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	—	—		
キャベツ	横浜町	H26. 10. 6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	54	—	—		
牧草	第3団地	H26. 5. 26	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	8	140	—	—	
		H26. 8. 12		ND	ND	ND	ND	ND	ND	59	160	—	—	
	横浜町	H26. 5. 26		ND	ND	ND	ND	0.5	ND	11	100	—	—	
		H26. 8. 13		ND	ND	ND	ND	1.7	ND	86	120	—	—	
	ワカサギ	尾駸沼		H26. 11. 5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	—	—
	シジミ	小川原湖		H26. 10. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	7	—	—

放射化学分析								備考
³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	
-	-	ND	-	-	-	-	ND	
-	-	ND	-	-	-	-	ND	
-	-	ND	-	-	-	-	ND	
-	-	ND	-	-	-	-	ND	
-	-	ND	-	-	-	-	ND	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	-	ND	-	-	-	-	-	
-	86 0.24	ND	-	ND	-	-	ND	
-	87 0.24	ND	-	ND	-	-	ND	
-	91 0.24	ND	-	ND	-	-	-	
-	89 0.24	-	-	-	-	-	-	
-	3 0.24	0.14	-	ND	-	-	ND	
-	5 0.24	0.18	-	ND	-	-	ND	
-	17 0.24	0.05	-	ND	-	-	-	
-	6 0.24	0.10	-	ND	-	-	-	
-	-	0.08	-	ND	-	-	ND	チモシー、リードカナリー(1番草)
-	-	0.14	-	ND	-	-	ND	チモシー、リードカナリー(2番草)
-	-	0.18	-	ND	-	-	ND	チモシー、リードカナリー、オーチャードグラス(1番草)
-	-	0.45	-	ND	-	-	ND	チモシー、リードカナリー、オーチャードグラス(2番草)
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機器分析										
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	
松葉	尾駈	H26. 4. 22	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	23	62	—	—	
		H26. 10. 20		ND	ND	ND	ND	ND	ND	52	65	—	—	
	比較対照 (青森市)	H26. 4. 24		ND	ND	ND	ND	ND	ND	16	76	—	—	
		H26. 10. 16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	55	75	—	—	
海	放出口 付近	H26. 4. 9	mBq/ℓ トリチウム については Bq/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
		H26. 10. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
	放出口 北20km 地点	H26. 4. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
		H26. 10. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
	放出口 南20km 地点	H26. 4. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
		H26. 10. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
海底土	放出口 付近	H26. 10. 9	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	190	ND	ND	
	放出口 北20km 地点	H26. 10. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	180	ND	ND	
	放出口 南20km 地点	H26. 10. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	210	ND	ND	
魚類 (ヒラメ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 10. 28	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	150	—	—	
海藻類 (コンブ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 10. 30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	380	—	—	
貝類 (ホタテ)	陸奥湾	H26. 7. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	84	—	—	
海藻類 (チガイソ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 4. 23		トリチウム については 上:Bq/kg生 下:Bq/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	270	—	—
		H26. 10. 2			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	200	—	—
貝類 (ムサキイソガイ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 4. 24			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	32	—
		H26. 10. 30	ND		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	32	—	—

・Uは、²³⁴U、²³⁵U及び²³⁸Uの合計。

・機器分析によるγ線放出核種、³H及び⁹⁰Srの測定値は試料採取日に補正した値。

・ヒラメ(六ヶ所村前面海域)及びホタテ(陸奥湾)は東通原子力発電所環境放射線等調査試料を兼ねる。

※: 大気浮遊じん(平沼及び泊)については、採取場所の移動により、採取を行えない期間が生じた。

(平沼:平成27年2月9日~2月21日、泊:平成27年2月23日~3月4日)

放射化学分析								備考
³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	
-	-	-	-	-	-	-	0.05	
-	-	-	-	-	-	-	0.03	
-	-	-	-	-	-	-	0.04	
-	-	-	-	-	-	-	0.03	
ND	-	ND	-	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	-	-	-	
ND	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	0.28	0.09	ND	-	
-	-	ND	-	0.58	0.20	ND	-	
-	-	ND	-	0.20	0.07	ND	-	
ND ND	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	
-	-	ND	-	0.006	-	-	-	
-	-	ND	-	0.005	-	-	-	
-	-	ND	-	0.003	-	-	-	
-	-	ND	-	ND	-	-	-	

(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果

測定地点	採取期間	測定値		大気中水分量 (g/m ³)	(参考) アクティブ試験開始前の測定値の範囲		備考
		大気中濃度 (mBq/m ³)	水分中濃度 (Bq/l)		大気中濃度 (mBq/m ³)	水分中濃度 (Bq/l)	
尾 駁	H26. 3. 31 ~ H26. 4. 30	ND	ND	4.5	ND	ND~2	
	H26. 4. 30 ~ H26. 5. 30	ND	ND	7.8			
	H26. 5. 30 ~ H26. 6. 30	ND	ND	11			
	H26. 6. 30 ~ H26. 7. 31	ND	ND	15			
	H26. 7. 31 ~ H26. 8. 29	ND	ND	17			
	H26. 8. 29 ~ H26. 9. 30	ND	ND	12			
	H26. 9. 30 ~ H26. 10. 31	ND	ND	7.8			
	H26. 10. 31 ~ H26. 11. 28	ND	ND	5.5			
	H26. 11. 28 ~ H26. 12. 26	ND	ND	3.9			
	H26. 12. 26 ~ H27. 1. 30	ND	ND	3.6			
	H27. 1. 30 ~ H27. 2. 27	ND	ND	3.2			
	H27. 2. 27 ~ H27. 3. 31	ND	ND	4.5			
横 浜 町	H26. 3. 31 ~ H26. 4. 30	ND	ND	4.7	ND	ND	
	H26. 4. 30 ~ H26. 5. 30	ND	ND	8.0			
	H26. 5. 30 ~ H26. 6. 30	ND	ND	12			
	H26. 6. 30 ~ H26. 7. 31	ND	ND	15			
	H26. 7. 31 ~ H26. 8. 29	ND	ND	18			
	H26. 8. 29 ~ H26. 9. 30	ND	ND	12			
	H26. 9. 30 ~ H26. 10. 31	ND	ND	8.1			
	H26. 10. 31 ~ H26. 11. 28	ND	ND	5.9			
	H26. 11. 28 ~ H26. 12. 26	ND	ND	3.8			
	H26. 12. 26 ~ H27. 1. 30	ND	ND	3.5			
	H27. 1. 30 ~ H27. 2. 27	ND	ND	3.5			
	H27. 2. 27 ~ H27. 3. 31	ND	ND	4.4			
比 較 対 照 (青森市)	H26. 3. 31 ~ H26. 4. 30	ND	ND	4.4	ND	ND~2	
	H26. 4. 30 ~ H26. 5. 30	ND	ND	8.2			
	H26. 5. 30 ~ H26. 6. 30	ND	ND	13			
	H26. 6. 30 ~ H26. 7. 31	ND	ND	16			
	H26. 7. 31 ~ H26. 8. 29	ND	ND	17			
	H26. 8. 29 ~ H26. 9. 30	ND	ND	12			
	H26. 9. 30 ~ H26. 10. 31	ND	ND	7.9			
	H26. 10. 31 ~ H26. 11. 28	ND	ND	5.6			
	H26. 11. 28 ~ H26. 12. 26	ND	ND	4.1			
	H26. 12. 26 ~ H27. 1. 30	ND	ND	3.7			
	H27. 1. 30 ~ H27. 2. 27	ND	ND	3.6			
	H27. 2. 27 ~ H27. 3. 31	ND	ND	4.0			

- ・測定値は試料採取日に補正した値。
- ・「アクティブ試験開始前の測定値の範囲」は、尾駁については平成元~17年度の測定値の「最小値~最大値」、横浜町及び比較対照（青森市）については平成2~17年度の測定値の「最小値~最大値」。

(8) 大気中の気体状フッ素測定結果

(単位：ppb)

測定局	測定月	平均	最大	最小	備考
尾 駁	4月	ND	ND	ND	
	5月	ND	ND	ND	
	6月	ND	ND	ND	
	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	1月	ND	ND	ND	
	2月	ND	ND	ND	
	3月	ND	ND	ND	
	年間	ND	ND	ND	
比較対照 (青 森)	4月	ND	ND	ND	
	5月	ND	ND	ND	
	6月	ND	ND	ND	
	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	1月	ND	ND	ND	
	2月	ND	ND	ND	
	3月	ND	ND	ND	
	年間	ND	ND	ND	

(9) 環境試料中のフッ素測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	測定値	備考
大 気	尾 駁	H26. 4. 8~	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	ND	
		H26. 4. 15		ND	
		H26. 7. 8~		ND	
		H26. 7. 15		ND	
		H26. 10. 8~		ND	
	H26. 10. 15	ND			
	比較対照 (青森市)	H27. 1. 6~		ND	
		H27. 1. 13		ND	
		H26. 4. 8~		ND	
		H26. 4. 15		ND	
H26. 7. 8~		ND			
河 川 水	老部川上流	H26. 10. 22	ND		
	老部川下流	H26. 10. 22	ND		
湖 沼 水	尾駁沼	H26. 4. 18	mg/l	0.4	塩分 10
		H26. 7. 17		0.7	塩分 20
		H26. 10. 15		0.4	塩分 19
		H26. 12. 4		0.7	塩分 20
	鷹架沼	H26. 4. 18		ND	塩分 2.3
		H26. 10. 15		0.2	塩分 7.6 (海水の塩分は約35)
河 底 土	老部川上流	H26. 10. 22	mg/kg乾	49	
	老部川下流	H26. 10. 22		76	
湖 底 土	尾 駁 沼	H26. 10. 15	mg/kg乾	160	
	鷹 架 沼	H26. 10. 15		98	
牛乳 (原乳)	二 又	H26. 4. 17	mg/l	ND	
		H26. 10. 15		ND	
	庄 内	H26. 4. 3		ND	
		H26. 7. 4		ND	
		H26. 10. 6		ND	
H27. 1. 8	ND				
精 米	二 又	H26. 9. 20	mg/kg生	ND	
牧 草	第3団地	H26. 5. 26		ND	
		H26. 8. 12	ND	チモシー、リード・カリー(2番草)	

・「大気」の測定値は粒子状フッ素及び気体状フッ素の合計。

(10) 気象観測結果

①風速・気温・湿度・降水量・積雪深

測定局	測定月	風速(m/sec)		気温(℃)			湿度(%)		降水量 (mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
尾 駁	4 月	3.4	10.1	7.9	23.5	-2.2	59	17	19.0	0	9	0	5	80
	5 月	2.9	10.9	13.1	25.1	4.5	75	29	66.0	0	0	0	0	0
	6 月	2.0	9.1	15.3	25.3	11.7	91	37	161.5	0	0	0	0	0
	7 月	2.0	11.2	20.8	30.4	14.1	87	52	81.5	0	0	0	0	0
	8 月	2.0	6.8	22.1	31.2	17.0	88	53	279.0	0	0	0	0	0
	9 月	1.9	7.7	18.6	26.1	10.2	80	40	71.5	0	0	0	0	0
	10 月	2.2	10.4	12.3	24.9	1.7	76	39	168.5	0	0	0	0	0
	11 月	2.9	10.7	8.1	19.5	-1.0	71	39	70.0	0	0	0	0	21
	12 月	3.4	9.9	0.2	13.0	-5.0	76	46	177.0	38	85	0	11	75
	1 月	3.7	10.4	0.1	7.0	-6.5	72	45	76.5	83	103	67	48	117
	2 月	3.1	10.2	0.9	6.9	-7.2	68	41	46.5	68	93	47	72	147
	3 月	3.4	10.0	4.5	17.7	-3.1	70	25	84.0	8	48	0	50	173
	年間	2.7	11.2	10.3	31.2	-7.2	76	17	1301.0	16	103	0	13	173
千歳平	4 月	3.1	8.8	7.9	24.5	-1.0	67	24	13.5	2	34	0	6	96
	5 月	2.8	8.3	13.5	27.2	6.0	76	30	75.5	0	0	0	0	0
	6 月	2.5	7.6	15.8	23.8	11.4	88	42	134.0	0	0	0	0	0
	7 月	2.3	9.4	21.1	31.2	13.9	85	49	74.0	0	0	0	0	0
	8 月	2.3	8.8	21.8	31.7	14.5	88	50	280.5	0	0	0	0	0
	9 月	2.2	6.7	18.3	26.6	10.8	81	36	66.0	0	0	0	0	0
	10 月	2.3	9.4	12.3	24.8	3.9	76	31	149.0	0	0	0	0	0
	11 月	2.8	11.6	7.5	19.4	0.0	72	40	45.5	0	0	0	1	40
	12 月	3.3	10.0	-0.5	12.3	-6.3	80	46	144.5	33	83	0	14	68
	1 月	3.6	9.1	-0.2	6.7	-6.2	76	38	63.0	74	96	56	59	106
	2 月	3.3	10.1	0.6	7.2	-8.3	71	33	39.5	57	78	33	82	153
	3 月	3.0	8.7	4.4	18.2	-3.9	70	18	77.5	8	34	0	62	137
	年間	2.8	11.6	10.2	31.7	-8.3	77	18	1162.5	15	96	0	18	153
平 沼	4 月	-	-	-	-	-	-	-	11.0	0	0	0	0	7
	5 月	-	-	-	-	-	-	-	79.0	0	0	0	0	0
	6 月	-	-	-	-	-	-	-	113.0	0	0	0	0	0
	7 月	-	-	-	-	-	-	-	77.0	0	0	0	0	0
	8 月	-	-	-	-	-	-	-	271.5	0	0	0	0	0
	9 月	-	-	-	-	-	-	-	46.5	0	0	0	0	0
	10 月	-	-	-	-	-	-	-	178.5	0	0	0	0	0
	11 月	-	-	-	-	-	-	-	24.5	0	0	0	0	22
	12 月	-	-	-	-	-	-	-	123.0	12	43	0	6	54
	1 月	-	-	-	-	-	-	-	74.5	28	47	13	26	64
	2 月 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	26.0	13	15	11	36	97
	3 月 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	58.0	欠測	欠測	欠測	15	66
	年間 ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	1082.5	5	47	0	7	97

測定局	測定月	風速(m/sec)		気温(℃)			湿度(%)		降水量(mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
泊	4月	—	—	—	—	—	—	—	30.0	0	0	0	0	8
	5月	—	—	—	—	—	—	—	68.0	0	0	0	0	0
	6月	—	—	—	—	—	—	—	226.0	0	0	0	0	0
	7月	—	—	—	—	—	—	—	82.5	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	343.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	140.0	0	0	0	0	0
	10月	—	—	—	—	—	—	—	168.5	0	0	0	0	1
	11月	—	—	—	—	—	—	—	57.5	0	0	0	0	14
	12月	—	—	—	—	—	—	—	163.5	28	57	0	8	59
	1月	—	—	—	—	—	—	—	81.0	37	59	23	41	109
	2月 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	45.5	29	50	19	57	127
	3月 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	101.0	欠測	欠測	欠測	24	98
年間 ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	1507.0	9	59	0	9	127	
吹越	4月	—	—	—	—	—	—	—	14.0	0	3	0	0	9
	5月	—	—	—	—	—	—	—	50.0	0	0	0	0	0
	6月	—	—	—	—	—	—	—	159.5	0	0	0	0	0
	7月	—	—	—	—	—	—	—	82.0	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	299.0	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	51.5	0	0	0	0	0
	10月	—	—	—	—	—	—	—	110.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	37.0	0	0	0	0	11
	12月	—	—	—	—	—	—	—	136.5	12	37	0	5	48
	1月	—	—	—	—	—	—	—	45.0	4	17	0	25	86
	2月	—	—	—	—	—	—	—	30.5	5	23	0	40	122
	3月	—	—	—	—	—	—	—	16.5 ^{※2}	0	5	0	11	49
年間	—	—	—	—	—	—	—	1031.5 ^{※2}	2	37	0	7	122	
比較対照 (青森市)	4月	—	—	—	—	—	—	—	9.5	0	0	0	3	48
	5月	—	—	—	—	—	—	—	35.5	0	0	0	0	0
	6月	—	—	—	—	—	—	—	112.5	0	0	0	0	0
	7月	—	—	—	—	—	—	—	110.5	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	270.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	67.0	0	0	0	0	0
	10月	—	—	—	—	—	—	—	124.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	47.5	0	0	0	0	9
	12月	—	—	—	—	—	—	—	195.5	30	72	0	9	63
	1月	—	—	—	—	—	—	—	101.5	74	102	50	55	110
	2月	—	—	—	—	—	—	—	33.5	66	87	46	70	133
	3月	—	—	—	—	—	—	—	49.0	16	46	0	49	115
年間	—	—	—	—	—	—	—	1156.5	15	102	0	15	133	

・測定値は「地上気象観測指針(平成14年 気象庁)」に基づく1時間値。

・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(平成21～25年度)の同一時期の平均値及び最大値。

※1：平沼局及び泊局については、設置場所の移動により、一部の測定値が欠測となった。

(欠測期間：平沼局 平成27年2月9日～2月13日、泊局 平成27年2月23日～2月26日)

積雪深については、移設工事により除雪されたため、上記の期間に加え3月末まで欠測とした。

※2：吹越局における降水量については、雨雪量計の不具合により、平成27年3月10日から4月7日を欠測とした。

②大気安定度出現頻度表

単位：時間（括弧内は％）

測定局	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
		尾 駁											
	4 月	11 (1.5)	49 (6.8)	53 (7.4)	16 (2.2)	97 (13.5)	27 (3.8)	261 (36.3)	36 (5.0)	32 (4.4)	138 (19.2)	720 (100)	
	5 月	24 (3.2)	63 (8.5)	65 (8.7)	14 (1.9)	74 (10.0)	20 (2.7)	353 (47.5)	23 (3.1)	16 (2.2)	91 (12.2)	743 (100)	
	6 月	28 (3.9)	81 (11.3)	67 (9.3)	9 (1.3)	42 (5.8)	5 (0.7)	412 (57.2)	10 (1.4)	2 (0.3)	64 (8.9)	720 (100)	
	7 月	21 (2.8)	66 (8.9)	97 (13.0)	16 (2.2)	61 (8.2)	12 (1.6)	351 (47.2)	16 (2.2)	5 (0.7)	99 (13.3)	744 (100)	
	8 月	10 (1.3)	41 (5.5)	65 (8.7)	18 (2.4)	56 (7.5)	13 (1.7)	417 (56.0)	18 (2.4)	18 (2.4)	88 (11.8)	744 (100)	
	9 月	9 (1.3)	68 (9.4)	89 (12.4)	26 (3.6)	41 (5.7)	19 (2.6)	185 (25.7)	25 (3.5)	35 (4.9)	223 (31.0)	720 (100)	
	10 月	9 (1.2)	53 (7.2)	62 (8.4)	13 (1.8)	27 (3.7)	17 (2.3)	279 (37.9)	16 (2.2)	20 (2.7)	241 (32.7)	737 (100)	
	11 月	1 (0.1)	24 (3.3)	50 (6.9)	8 (1.1)	15 (2.1)	7 (1.0)	410 (56.9)	35 (4.9)	14 (1.9)	156 (21.7)	720 (100)	
	12 月	0 (0.0)	13 (1.7)	25 (3.4)	8 (1.1)	15 (2.0)	11 (1.5)	554 (74.5)	21 (2.8)	24 (3.2)	73 (9.8)	744 (100)	
	1 月	0 (0.0)	11 (1.5)	27 (3.6)	1 (0.1)	20 (2.7)	17 (2.3)	554 (74.5)	25 (3.4)	6 (0.8)	83 (11.2)	744 (100)	
	2 月	0 (0.0)	12 (1.8)	42 (6.3)	17 (2.5)	38 (5.7)	30 (4.5)	405 (60.3)	42 (6.3)	22 (3.3)	64 (9.5)	672 (100)	
	3 月	3 (0.4)	30 (4.0)	40 (5.4)	13 (1.7)	65 (8.7)	32 (4.3)	395 (53.1)	29 (3.9)	17 (2.3)	120 (16.1)	744 (100)	
	年 間	116 (1.3)	511 (5.8)	682 (7.8)	159 (1.8)	551 (6.3)	210 (2.4)	4,576 (52.3)	296 (3.4)	211 (2.4)	1,440 (16.5)	8,752 (100)	
千歳平													
	4 月	8 (1.1)	36 (5.0)	60 (8.3)	13 (1.8)	99 (13.8)	32 (4.5)	202 (28.1)	46 (6.4)	67 (9.3)	156 (21.7)	719 (100)	
	5 月	11 (1.5)	64 (8.6)	55 (7.4)	25 (3.4)	87 (11.7)	29 (3.9)	209 (28.1)	62 (8.3)	45 (6.1)	156 (21.0)	743 (100)	
	6 月	6 (0.8)	48 (6.7)	87 (12.1)	19 (2.6)	63 (8.8)	6 (0.8)	268 (37.3)	56 (7.8)	12 (1.7)	154 (21.4)	719 (100)	
	7 月	10 (1.3)	56 (7.5)	87 (11.7)	29 (3.9)	67 (9.0)	18 (2.4)	236 (31.8)	31 (4.2)	20 (2.7)	189 (25.4)	743 (100)	
	8 月	8 (1.1)	31 (4.2)	59 (7.9)	22 (3.0)	68 (9.2)	7 (0.9)	246 (33.1)	71 (9.6)	48 (6.5)	183 (24.6)	743 (100)	
	9 月	13 (1.8)	49 (6.8)	69 (9.6)	31 (4.3)	53 (7.4)	24 (3.3)	151 (21.0)	38 (5.3)	69 (9.6)	222 (30.9)	719 (100)	
	10 月	1 (0.1)	55 (7.5)	61 (8.3)	14 (1.9)	27 (3.7)	18 (2.4)	226 (30.6)	26 (3.5)	54 (7.3)	256 (34.7)	738 (100)	
	11 月	0 (0.0)	29 (4.0)	47 (6.5)	3 (0.4)	19 (2.6)	5 (0.7)	333 (46.3)	40 (5.6)	44 (6.1)	199 (27.7)	719 (100)	
	12 月	0 (0.0)	7 (0.9)	25 (3.4)	8 (1.1)	28 (3.8)	14 (1.9)	482 (64.9)	63 (8.5)	39 (5.2)	77 (10.4)	743 (100)	
	1 月	0 (0.0)	9 (1.4)	19 (2.9)	7 (1.1)	25 (3.9)	22 (3.4)	465 (72.1)	30 (4.7)	11 (1.7)	57 (8.8)	645 (100)	
	2 月	1 (0.1)	14 (2.1)	36 (5.4)	12 (1.8)	39 (5.8)	27 (4.0)	468 (69.6)	14 (2.1)	13 (1.9)	48 (7.1)	672 (100)	
	3 月	11 (1.5)	15 (2.0)	56 (7.5)	19 (2.6)	57 (7.7)	34 (4.6)	389 (52.3)	25 (3.4)	33 (4.4)	105 (14.1)	744 (100)	
	年 間	69 (0.8)	413 (4.8)	661 (7.6)	202 (2.3)	632 (7.3)	236 (2.7)	3,675 (42.5)	502 (5.8)	455 (5.3)	1,802 (20.8)	8,647 (100)	

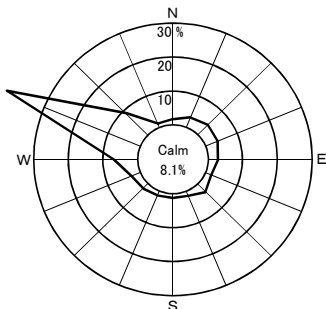
・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針（平成13年3月 原子力安全委員会）」に基づく1時間値を用いて分類。

・分類

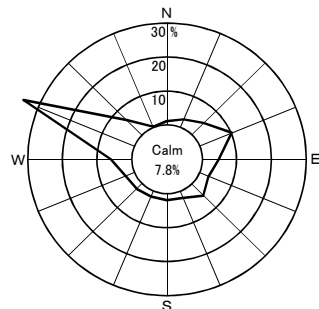
A：強不安定 B：並不安定 C：弱不安定 D：中 立
E：弱安定 F：並安定 G：強安定

③風配図

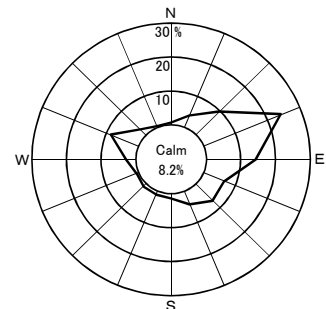
尾 駁



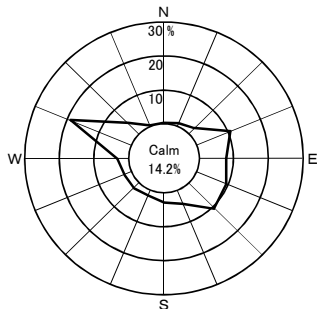
(4月)



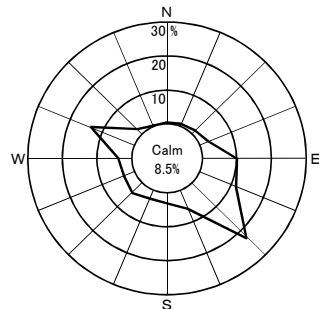
(5月)



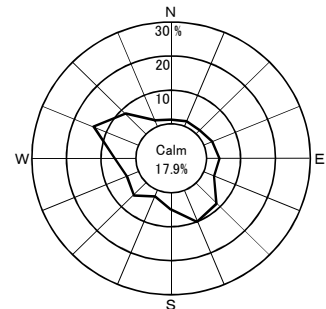
(6月)



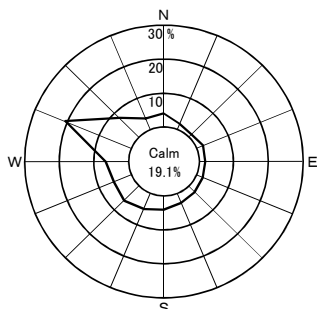
(7月)



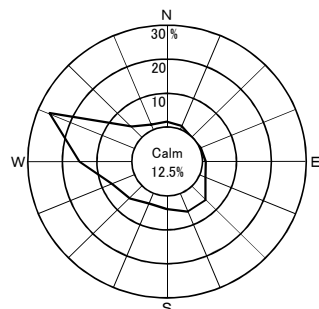
(8月)



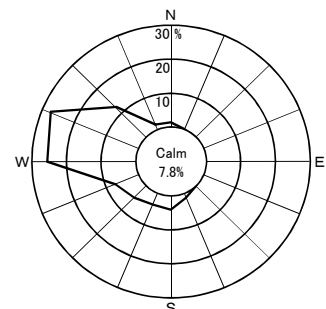
(9月)



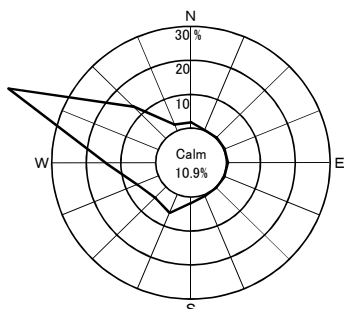
(10月)



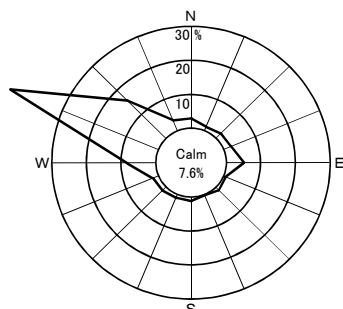
(11月)



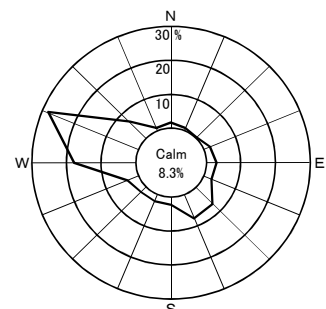
(12月)



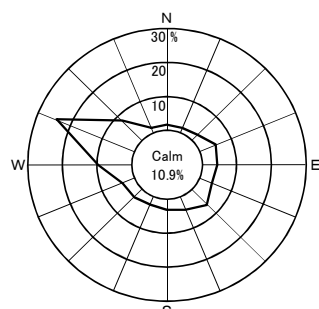
(1月)



(2月)



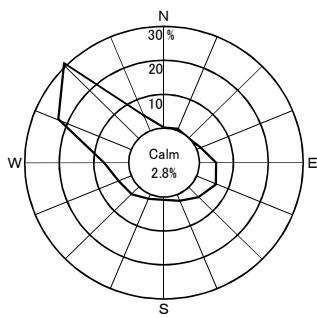
(3月)



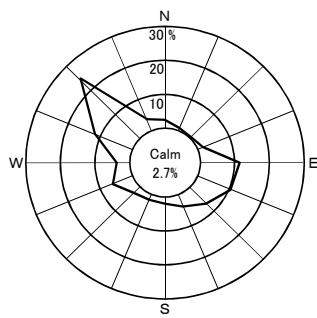
(年間)

Calm: 風速0.4m/sec以下

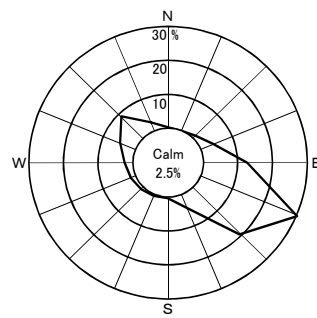
千 歳 平



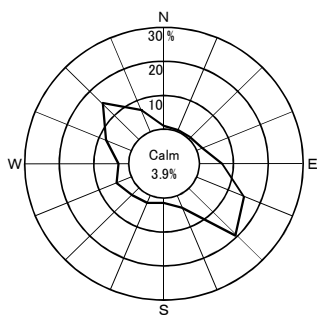
(4月)



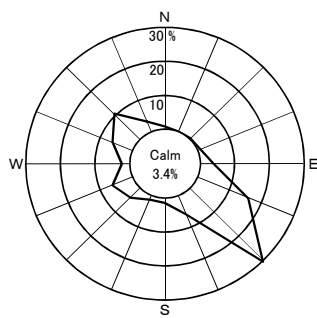
(5月)



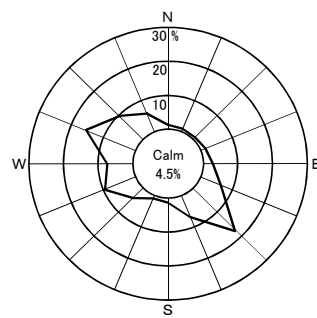
(6月)



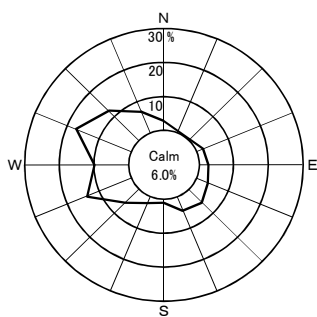
(7月)



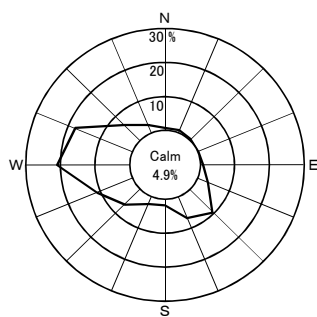
(8月)



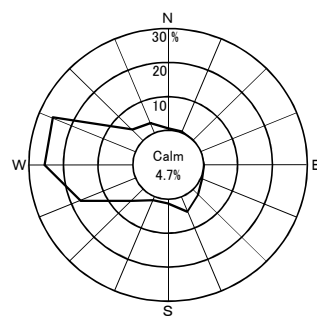
(9月)



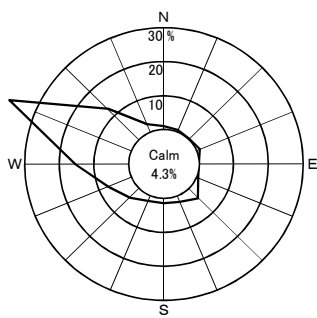
(10月)



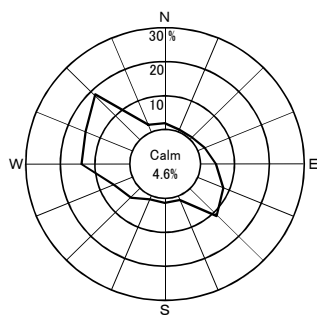
(11月)



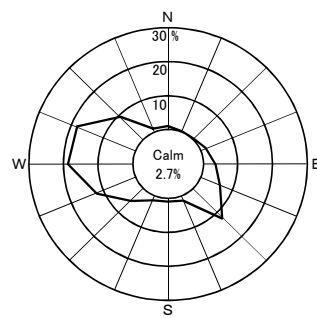
(12月)



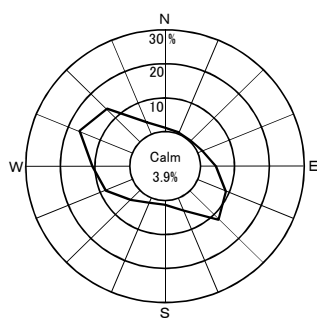
(1月)



(2月)



(3月)



(年間)

Calm:風速0.4m/sec以下

2. 事業者実施分測定結果

(1) 空間放射線量率測定結果

① モニタリングステーションによる空間放射線量率 (NaI) 測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅を外れた時間数(単位:時間)	平常の変動幅を外れた原因と時間数(単位:時間)		平常の変動幅	過去の測定値の範囲	備考
							施設起因	降雨等			
老部川	4月	19	30	18	0.9	0	0	0	7~31 (19±12)	8~75	
	5月	20	40	19	1.8	3	0	3			
	6月	20	48	18	2.2	7	0	7			
	7月	20	38	19	2.3	5	0	5			
	8月	21	47	19	3.1	15	0	15			
	9月	20	49	19	2.4	6	0	6			
	10月	21	50	19	3.2	17	0	17			
	11月	21	50	19	3.7	26	0	26			
	12月	20	71	13	8.2	55	0	55			
	1月	14	56	11	4.1	8	0	8			
	2月	15	39	12	3.2	2	0	2			
	3月	20	39	18	2.5	10	0	10			
年間		19	71	11	4.2	154	0	154			
二又	4月	21	35	18	1.2	0	0	0	6~36 (21±15)	7~78	
	5月	22	39	20	2.0	1	0	1			
	6月	22	52	20	2.7	7	0	7			
	7月	23	40	21	2.3	3	0	3			
	8月	23	52	21	3.5	9	0	9			
	9月	23	47	21	2.7	5	0	5			
	10月	24	61	21	3.8	17	0	17			
	11月	24	60	21	4.0	20	0	20			
	12月	21	76	13	9.7	59	0	59			
	1月	15	50	12	5.0	11	0	11			
	2月	15	38	12	3.4	1	0	1			
	3月	21	43	17	3.1	5	0	5			
年間		21	76	12	5.1	138	0	138			
室ノ久保	4月	21	32	18	1.0	0	0	0	9~33 (21±12)	8~60	
	5月	21	35	20	1.7	2	0	2			
	6月	21	45	20	1.9	5	0	5			
	7月	22	36	20	2.0	2	0	2			
	8月	22	45	20	2.6	7	0	7			
	9月	22	41	21	2.0	5	0	5			
	10月	23	44	21	2.7	11	0	11			
	11月	23	48	21	3.0	15	0	15			
	12月	22	65	15	7.5	55	0	55			
	1月	16	44	12	4.1	11	0	11			
	2月	15	35	13	2.7	1	0	1			
	3月	21	36	17	2.1	2	0	2			
年間		21	65	12	4.1	116	0	116			

- ・ 測定値は1時間値。
- ・ 測定時間数は1年間で約8,800時間。
- ・ 測定値は3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・ 「平常の変動幅」は、「過去の測定値」の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・ 「過去の測定値」の範囲は、平成21~25年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・ 「施設起因」は、監視対象施設である原子燃料サイクル施設に起因するもの。
- ・ 「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・ 「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(参考) モニタリングステーションによる空間放射線量率 (電離箱) 測定結果

(単位:nGy/h)

測定局	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	備考
老部川	4月	61	72	60	1.1	
	5月	62	81	60	1.9	
	6月	62	89	59	2.3	
	7月	62	79	59	2.3	
	8月	62	88	59	3.1	
	9月	61	87	60	2.4	
	10月	62	93	59	3.3	
	11月	62	91	59	3.8	
	12月	62	112	54	8.2	
	1月	57	98	52	4.2	
	2月	58	83	54	3.4	
	3月	62	83	59	2.8	
	年間	61	112	52	4.1	
二又	4月	60	74	57	1.4	
	5月	61	78	59	2.0	
	6月	61	89	58	2.6	
	7月	61	78	59	2.2	
	8月	61	89	58	3.4	
	9月	61	83	59	2.5	
	10月	61	86	59	3.4	
	11月	61	96	58	4.0	
	12月	59	112	50	9.6	
	1月	54	83	49	4.9	
	2月	54	79	50	3.8	
	3月	60	84	55	3.4	
	年間	59	112	49	4.9	
室ノ久保	4月	59	70	57	1.1	
	5月	60	74	58	1.9	
	6月	59	82	57	2.0	
	7月	59	75	57	2.1	
	8月	59	82	56	2.6	
	9月	59	76	57	1.9	
	10月	59	79	57	2.7	
	11月	60	83	57	3.1	
	12月	60	100	51	7.5	
	1月	54	79	50	4.1	
	2月	54	76	51	2.9	
	3月	59	74	55	2.2	
	年間	58	100	50	3.9	

- ・ 測定値は1時間値。
- ・ 測定値は3MeVを超える高エネルギー成分を含む。

(2) 積算線量測定結果 (R P L D)

測 定 地 点	年間積算線量 (μ Gy/365日)	3 箇月積算線量 (μ Gy/91日)				平 常 の 幅 変 動	備 考
		第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期		
老 部 川	339	83	87	88	80	72 ~ 95	
二 又	362	88	96	95	82	72 ~ 103	
室 ノ 久 保	353	86	94	91	81	72 ~ 102	
石 川	383	95	101	101	85	66 ~ 109	
新 町	403	100	107	108	87	75 ~ 117	
大 石 平	388	98	106	103	80	73 ~ 114	
六ヶ所村 富 ノ 沢	371	92	98	100	80	72 ~ 108	
雲 雀 平	385	93	99	100	92	81 ~ 107	
むつ小川原石油備蓄	351	84	93	92	81	72 ~ 99	
千 樽	368	92	96	98	81	72 ~ 105	
豊 原	361	90	98	96	76	70 ~ 109	
千 歳 平	361	89	94	95	82	— ※	
六 原	392	95	102	101	93	81 ~ 114	

- ・ 測定値は宇宙線の一部及び自己照射の線量を含む。
- ・ 「3箇月積算線量」は測定期間の測定値を91日当たりに換算し整数で示した値。
「年間積算線量」は各測定期間の測定値を合計した後、365日当たりに換算し整数で示した値。
- ・ 「平常の変動幅」は平成21～25年度の3箇月積算線量の測定値の「最小値～最大値」。
- ・ ※：千歳平において、周辺で行われた工事により測定値に変化が見られたことから、平常の変動幅については、平成26年度第2四半期から新たにデータの蓄積を行い、1年以上経過した時点で暫定的に平常の変動幅を設定する。(付2参照)

(3) 大気浮遊じん中の全 α 及び全 β 放射能測定結果(単位:mBq/m³)

測定局	採取期間	検体数	全 α			全 β			備考
			平均	最大	最小	平均	最大	最小	
老 部 川	H26. 3. 31～H26. 6. 30	13	< 0.071	0.16	*	< 0.31	0.52	*	
	H26. 6. 30～H26. 9. 29	13	< 0.049	0.11	*	< 0.29	0.55	*	
	H26. 9. 29～H26.12. 29	13	0.059	0.11	0.029	0.39	0.54	0.25	
	H26.12. 29～H27. 3. 30	13	0.056	0.13	0.017	0.48	0.75	0.19	
	年 間	52	< 0.059	0.16	*	< 0.37	0.75	*	
二 又	H26. 3. 31～H26. 6. 30	13	< 0.11	0.23	*	< 0.27	0.49	*	
	H26. 6. 30～H26. 9. 29	13	< 0.077	0.16	*	< 0.33	0.62	*	
	H26. 9. 29～H26.12. 29	13	< 0.096	0.25	*	0.47	0.63	0.31	
	H26.12. 29～H27. 3. 30	13	< 0.063	0.22	*	0.59	0.85	0.28	
	年 間	52	< 0.088	0.25	*	< 0.42	0.85	*	
室ノ久保	H26. 3. 31～H26. 6. 30	13	0.092	0.19	0.021	< 0.38	0.69	*	
	H26. 6. 30～H26. 9. 29	13	0.059	0.12	0.017	0.36	0.63	0.18	
	H26. 9. 29～H26.12. 29	13	0.078	0.16	0.028	0.55	0.74	0.38	
	H26.12. 29～H27. 3. 30	13	< 0.062	0.18	*	< 0.57	0.86	*	
	年 間	52	< 0.073	0.19	*	< 0.47	0.86	*	

- ・ 168時間集じん終了後72時間放置、1時間測定。
- ・ 平均値の算出においては測定値に検出限界以下のものが含まれる場合、そのときの検出限界値を測定値として算出し平均値に「<」を付ける。すべての測定値が検出限界以下の場合、平均値も検出限界以下とし「*」と表示する。

(4) 大気中の気体状β放射能測定結果 (クリプトン-85換算)

(単位: kBq/m³)

測定局	測定月	平均	最大	最小	平常の変動幅	(参考)		備考
						定量下限値以上 となった時間数 (うち、平常の変動幅 を上回った時間数)	アクティブ試験 開始前の 測定値の範囲	
老部川	4月	ND	ND	ND	ND~3	0 (0)	ND	
	5月	ND	ND	ND		0 (0)		
	6月	ND	ND	ND		0 (0)		
	7月	ND	ND	ND		0 (0)		
	8月	ND	ND	ND		0 (0)		
	9月	ND	ND	ND		0 (0)		
	10月	ND	ND	ND		0 (0)		
	11月	ND	ND	ND		0 (0)		
	12月	ND	ND	ND		0 (0)		
	1月	ND	ND	ND		0 (0)		
	2月	ND	ND	ND		0 (0)		
	3月	ND	ND	ND		0 (0)		
	年間	ND	ND	ND		0 (0)		
二又	4月	ND	ND	ND	ND~8	0 (0)	ND	
	5月	ND	ND	ND		0 (0)		
	6月	ND	ND	ND		0 (0)		
	7月	ND	ND	ND		0 (0)		
	8月	ND	ND	ND		0 (0)		
	9月	ND	ND	ND		0 (0)		
	10月	ND	ND	ND		0 (0)		
	11月	ND	ND	ND		0 (0)		
	12月	ND	ND	ND		0 (0)		
	1月	ND	ND	ND		0 (0)		
	2月	ND	ND	ND		0 (0)		
	3月	ND	ND	ND		0 (0)		
	年間	ND	ND	ND		0 (0)		
室ノ久保	4月	ND	ND	ND	ND~6	0 (0)	ND	
	5月	ND	ND	ND		0 (0)		
	6月	ND	ND	ND		0 (0)		
	7月	ND	ND	ND		0 (0)		
	8月	ND	ND	ND		0 (0)		
	9月	ND	ND	ND		0 (0)		
	10月	ND	ND	ND		0 (0)		
	11月	ND	ND	ND		0 (0)		
	12月	ND	ND	ND		0 (0)		
	1月	ND	ND	ND		0 (0)		
	2月	ND	ND	ND		0 (0)		
	3月	ND	ND	ND		0 (0)		
	年間	ND	ND	ND		0 (0)		

- ・ 測定値は1時間値。
- ・ 測定値は1年間で約8,800時間。
- ・ 平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。また、すべての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし「ND」と表示する。
- ・ 「平常の変動幅」は平成6~25年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・ 「アクティブ試験開始前の測定値の範囲」は、平成6~17年度の測定値の「最小値~最大値」。

(5) 大気中のヨウ素-131測定結果

(単位:mBq/m³)

測定地点	採取期間	検体数	平均	最大	最小	備考
老部川	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	N D	N D	N D	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	N D	N D	N D	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	N D	N D	N D	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	N D	N D	N D	
	年間	52	N D	N D	N D	
二又	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	N D	N D	N D	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	N D	N D	N D	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	N D	N D	N D	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	N D	N D	N D	
	年間	52	N D	N D	N D	
室ノ久保	H26. 3. 31 ~ H26. 6. 30	13	N D	N D	N D	
	H26. 6. 30 ~ H26. 9. 29	13	N D	N D	N D	
	H26. 9. 29 ~ H26. 12. 29	13	N D	N D	N D	
	H26. 12. 29 ~ H27. 3. 30	13	N D	N D	N D	
	年間	52	N D	N D	N D	

- ・測定値は試料採取日に補正した値。
- ・平均値の算出においては、測定値に定量下限値未満のものが含まれる場合、定量下限値を測定値として算出し、平均値に「<」を付ける。全ての測定値が定量下限値未満の場合、平均値も定量下限値未満とし「ND」と表示する。

(6) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析									
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac
大気浮遊じん	老部川	H26. 3. 31 ~H26. 6. 30	mBq/m ³	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.8	ND	—	—
		H26. 6. 30~ H26. 9. 29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.0	ND	—	—
		H26. 9. 29~ H26. 12. 29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.4	ND	—	—
		H26. 12. 29~ H27. 3. 30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—
	二又	H26. 3. 31 ~H26. 6. 30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.8	ND	—	—
		H26. 6. 30~ H26. 9. 29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	—	—
		H26. 9. 29~ H26. 12. 29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.3	ND	—	—
		H26. 12. 29~ H27. 3. 30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.1	ND	—	—
	室ノ久保	H26. 3. 31 ~H26. 6. 30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.9	ND	—	—
		H26. 6. 30~ H26. 9. 29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.2	ND	—	—
		H26. 9. 29~ H26. 12. 29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.5	ND	—	—
		H26. 12. 29~ H27. 3. 30		ND	ND	ND	ND	ND	ND	2.2	ND	—	—
河川水	老部川下流	H26. 7. 16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
	二又川下流	H26. 7. 17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
湖沼水	尾駁沼1	H26. 4. 9	mBq/l トリチウムに ついては	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26. 7. 18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26. 10. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26. 12. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
	尾駁沼2	H26. 4. 9	Bq/l	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26. 7. 18	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
		H26. 10. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
		H26. 12. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	

放射化学分析								備考
³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
—	—	ND	—	ND	—	—	ND	
ND	—	1.0	—	ND	—	—	ND	
ND	—	0.5	—	ND	—	—	6	
ND	—	ND	—	ND	—	—	33	塩分 11
ND	—	ND	—	ND	—	—	52	塩分 21
ND	—	ND	—	ND	—	—	52	塩分 20
ND	—	ND	—	ND	—	—	57	塩分 20
ND	—	ND	—	ND	—	—	27	塩分 9.8
ND	—	ND	—	ND	—	—	62	塩分 23
ND	—	ND	—	ND	—	—	63	塩分 25
ND	—	ND	—	ND	—	—	56	塩分 18 (海水の塩分は約35)

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析										
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	
水道水	尾 駁	H26. 4. 10	mBq/ℓ トリウムに ついては Bq/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—
		H26. 7. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H26. 10. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H27. 1. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
	千 歳 平	H26. 4. 10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H26. 7. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H26. 10. 9		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H27. 1. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
	平 沼	H26. 4. 11		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H26. 7. 10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	—	—	
		H26. 10. 10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H27. 1. 16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
	二 又	H26. 4. 11		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H26. 7. 10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H26. 10. 10		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
		H27. 1. 16		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	
井 戸 水	尾 駁 1	H26. 4. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	—	—		
		H26. 7. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	—	—		
		H26. 10. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	—	—		
		H27. 1. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	—	—		
	尾 駁 2	H26. 4. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	—	—		
		H26. 7. 4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	—	—		
		H26. 10. 8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	—	—		
		H27. 1. 15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—		
河 底 土	老部川下流	H26. 7. 16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	ND	ND		
	二又川下流	H26. 7. 17	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	73	ND	ND		
湖 底 土	尾 駁 沼	H26. 10. 3	ND	ND	ND	ND	4	ND	ND	270	ND	ND		
表 土	尾 駁	H26. 7. 1	ND	ND	ND	ND	10	ND	ND	310	23	37		
	千 樽	H26. 7. 3	ND	ND	ND	ND	10	ND	ND	280	23	31		

放 射 化 学 分 析								備 考
³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	5.5	—	—	—	—	—	
ND	—	5.3	—	—	—	—	—	
ND	—	7.1	—	—	—	—	—	
ND	—	4.5	—	—	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	—	—	4.4	
—	—	—	—	ND	—	—	20	
—	—	ND	—	0.82	0.31	ND	130	
—	—	2.6	ND	0.24	0.09	ND	41	
—	—	1.1	ND	0.32	0.14	ND	55	

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析										
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac	
牛乳(原乳)	二又	H26. 7. 2	Bq/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	46	—	—	
		H27. 1. 6		ND	ND	ND	ND	ND	ND	42	—	—		
	豊原	H26. 4. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—		
		H26. 7. 2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	48	—	—		
		H26. 10. 2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—		
		H27. 1. 6		ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—		
	六原	H26. 4. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	49	—	—		
		H26. 7. 2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	51	—	—		
		H26. 10. 2		ND	ND	ND	ND	ND	ND	47	—	—		
		H27. 1. 6		ND	ND	ND	ND	ND	ND	52	—	—		
	精米	二又		H26. 9. 27	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	31	—	—
		戸鎖		H26. 10. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	29	—	—
平沼		H26. 10. 2	ND	ND		ND	ND	ND	ND	30	—	—		
バレイシヨ	尾駸	H26. 8. 14	上:Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	ND	ND	110	—	—		
ハクサイ	千樽	H26. 10. 21		ND	ND	ND	ND	ND	ND	69	—	—		
ナガイモ	平沼	H26. 11. 12	下:Bq/g炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	—	—		
牧草	富ノ沢	H26. 6. 3	Bq/kg生	ND	ND	ND	ND	0.5	ND	ND	120	—	—	
		H26. 8. 25		ND	ND	ND	ND	ND	ND	140	130	—	—	
	二又	H26. 5. 28		ND	ND	ND	ND	ND	ND	13	140	—	—	
		H26. 7. 25		ND	ND	ND	ND	ND	ND	48	190	—	—	
	豊原	H26. 6. 3		ND	ND	ND	ND	ND	ND	150	—	—		
		H26. 7. 31		ND	ND	ND	ND	0.5	ND	12	150	—	—	
	六原	H26. 6. 3		ND	ND	ND	ND	0.5	ND	7	120	—	—	
		H26. 7. 31		ND	ND	ND	ND	0.5	ND	24	160	—	—	
	デントコーン	豊原		H26. 9. 9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	20	120	—	—
	ワカサギ	尾駸沼		H26. 10. 21	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	120	—	—

放射化学分析								備考
³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	
—	—	N D	—	—	—	—	N D	
—	—	N D	—	—	—	—	N D	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	—	—	—	—	
—	86 0.23	N D	—	N D	—	—	N D	
—	87 0.23	N D	—	N D	—	—	N D	
—	89 0.23	N D	—	N D	—	—	—	
—	18 0.23	N D	—	N D	—	—	N D	
—	4 0.24	0.05	—	N D	—	—	N D	
—	17 0.24	N D	—	N D	—	—	N D	
—	—	0.26	—	—	—	—	N D	チモン(1番草)
—	—	0.92	—	—	—	—	N D	チモン(2番草)
—	—	0.09	—	—	—	—	N D	チモン(1番草)
—	—	0.13	—	—	—	—	N D	チモン(2番草)
—	—	0.08	—	—	—	—	—	チモン(1番草) リード'カナリガラス(1番草)
—	—	0.16	—	—	—	—	—	リード'カナリガラス(2番草) チモン(2番草)
—	—	0.18	—	—	—	—	—	オーチャード'グラス(1番草)
—	—	0.22	—	—	—	—	—	オーチャード'グラス(2番草)
—	—	0.07	—	—	—	—	—	
—	—	N D	—	N D	—	—	0.05	

試料名	採取地点	採取年月日	単位	機 器 分 析											
				⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi	²²⁸ Ac		
海	放出口近 付	H26. 4. 17	mBq/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
		H26. 7. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	
		H26. 11. 11		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H27. 1. 14		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
	放出口 北5km点 地	H26. 4. 17		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26. 7. 8		トリチウムに	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26. 11. 11		ついては	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H27. 1. 14		Bq/ℓ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
	放出口 南5km点 地	H26. 4. 17		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26. 7. 8		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H26. 11. 11		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
		H27. 1. 14		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—
海底土	放出口付近	H26. 11. 11	Bq/kg乾	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	220	ND	ND		
魚類 (ヒラメ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 7. 22	Bq/kg生 トリチウムに ついては 上:Bq/kg生 下:Bq/ℓ	ND	ND	ND	ND	1.1	ND	ND	140	—	—		
海藻類 (コンブ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 8. 28		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	410	—	—		
貝類 (アワビ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 11. 4		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	77	—	—		
頭足類 (イカ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 9. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	130	—	—		
甲殻類 (ヒラツメガニ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 7. 29		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	67	—	—		
その他 (ウニ)	六ヶ所村 前面海域	H26. 8. 1		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	130	—	—		

・Uは、²³⁴U、²³⁵U及び²³⁸Uの合計。

・機器分析によるγ線放出核種、³H及び⁹⁰Srの測定値は、試料採取日に補正した値。

放 射 化 学 分 析								備 考
³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	¹²⁹ I	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	²⁴¹ Am	²⁴⁴ Cm	U	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	0.40	0.15	ND	—	
ND ND	—	ND	—	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	0.003	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	—	—	—	
—	—	ND	—	ND	—	—	—	

(7) 大気中の水蒸気状トリチウム測定結果

測定地点	採取期間	測定値		大気中水分量 (g/m ³)	(参考) アクティブ試験開始前の測定値の範囲		備考
		大気中濃度 (mBq/m ³)	水分中濃度 (Bq/l)		大気中濃度 (mBq/m ³)	水分中濃度 (Bq/l)	
老部川	H26. 3. 31 ~ H26. 4. 30	N D	N D	4. 7	N D	N D	
	H26. 4. 30 ~ H26. 5. 30	N D	N D	8. 6			
	H26. 5. 30 ~ H26. 6. 30	N D	N D	12			
	H26. 6. 30 ~ H26. 7. 31	N D	N D	16			
	H26. 7. 31 ~ H26. 8. 29	N D	N D	18			
	H26. 8. 29 ~ H26. 9. 30	N D	N D	14			
	H26. 9. 30 ~ H26.10.31	N D	N D	8. 6			
	H26.10.31 ~ H26.11.28	N D	N D	6. 2			
	H26.11.28 ~ H26.12.26	N D	N D	4. 5			
	H26.12.26 ~ H27. 1.30	N D	N D	3. 9			
	H27. 1.30 ~ H27. 2.27	N D	N D	3. 8			
	H27. 2.27 ~ H27. 3.31	N D	N D	4. 4			
二又	H26. 3. 31 ~ H26. 4. 30	N D	N D	4. 2	N D	N D	
	H26. 4. 30 ~ H26. 5. 30	N D	N D	7. 9			
	H26. 5. 30 ~ H26. 6. 30	N D	N D	12			
	H26. 6. 30 ~ H26. 7. 31	N D	N D	16			
	H26. 7. 31 ~ H26. 8. 29	N D	N D	18			
	H26. 8. 29 ~ H26. 9. 30	N D	N D	13			
	H26. 9. 30 ~ H26.10.31	N D	N D	7. 8			
	H26.10.31 ~ H26.11.28	N D	N D	5. 4			
	H26.11.28 ~ H26.12.26	N D	N D	3. 9			
	H26.12.26 ~ H27. 1.30	N D	N D	3. 3			
	H27. 1.30 ~ H27. 2.27	N D	N D	3. 3			
	H27. 2.27 ~ H27. 3.31	N D	N D	4. 1			
室ノ久保	H26. 3. 31 ~ H26. 4. 30	N D	N D	4. 6	N D	N D	
	H26. 4. 30 ~ H26. 5. 30	N D	N D	8. 5			
	H26. 5. 30 ~ H26. 6. 30	N D	N D	13			
	H26. 6. 30 ~ H26. 7. 31	N D	N D	17			
	H26. 7. 31 ~ H26. 8. 29	N D	N D	19			
	H26. 8. 29 ~ H26. 9. 30	N D	N D	14			
	H26. 9. 30 ~ H26.10.31	N D	N D	8. 7			
	H26.10.31 ~ H26.11.28	N D	N D	6. 3			
	H26.11.28 ~ H26.12.26	N D	N D	4. 5			
	H26.12.26 ~ H27. 1.30	N D	N D	3. 8			
	H27. 1.30 ~ H27. 2.27	N D	N D	3. 7			
	H27. 2.27 ~ H27. 3.31	N D	N D	4. 5			

・測定値は試料採取日に補正した値。

・「アクティブ試験開始前の測定値の範囲」は、平成10~17年度の測定値の「最小値~最大値」。

(8) 大気中の気体状フッ素測定結果

(単位:ppb)

測定局	測定月	平均	最大	最小	備考
老部川	4月	ND	ND	ND	
	5月	ND	ND	ND	
	6月	ND	ND	ND	
	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	1月	ND	ND	ND	
	2月	ND	ND	ND	
	3月	ND	ND	ND	
	年間	ND	ND	ND	
	二又	4月	ND	ND	
5月		ND	ND	ND	
6月		ND	ND	ND	
7月		ND	ND	ND	
8月		ND	ND	ND	
9月		ND	ND	ND	
10月		ND	ND	ND	
11月		ND	ND	ND	
12月		ND	ND	ND	
1月		ND	ND	ND	
2月		ND	ND	ND	
3月		ND	ND	ND	
年間		ND	ND	ND	
室ノ久保		4月	ND	ND	ND
	5月	ND	ND	ND	
	6月	ND	ND	ND	
	7月	ND	ND	ND	
	8月	ND	ND	ND	
	9月	ND	ND	ND	
	10月	ND	ND	ND	
	11月	ND	ND	ND	
	12月	ND	ND	ND	
	1月	ND	ND	ND	
	2月	ND	ND	ND	
	3月	ND	ND	ND	
	年間	ND	ND	ND	

(9) 環境試料中のフッ素測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	測定値	備考
大 気	二 又	H26. 4. 4~ H26. 4. 14	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	N D	
		H26. 7. 14~ H26. 7. 24		N D	
		H26. 10. 6 ~H26. 10. 16		N D	
		H27. 1. 9 ~H27. 1. 19		N D	
	室ノ久保	H26. 4. 4~ H26. 4. 14		N D	
		H26. 7. 14~ H26. 7. 24		N D	
		H26. 10. 6 ~H26. 10. 16		N D	
		H27. 1. 9 ~H27. 1. 19		N D	
河 川 水	老部川下流	H26. 7. 16		N D	
	二又川下流	H26. 7. 17		N D	
湖 沼 水	尾 駁 沼 1	H26. 4. 9	mg/ℓ	0.4	塩分 11
		H26. 7. 18		0.7	塩分 21
		H26. 10. 3		0.6	塩分 20
		H26. 12. 9		0.6	塩分 20
	尾 駁 沼 2	H26. 4. 9		0.3	塩分 9.8
		H26. 7. 18		0.8	塩分 23
		H26. 10. 3		0.8	塩分 25
		H26. 12. 9		0.6	塩分 18 (海水の塩分は約35)
河 底 土	老部川下流	H26. 7. 16	mg/kg乾	92	
	二又川下流	H26. 7. 17		58	
湖 底 土	尾 駁 沼	H26. 10. 3		180	
表 土	尾 駁	H26. 7. 1		300	
	千 樽	H26. 7. 3	350		

牛乳(原乳)	二 又	H26. 7. 2	mg/ℓ	N D		
		H27. 1. 6		N D		
精 米	二 又 戸 鎖	H26. 9. 27	mg/kg生	N D		
		H26. 10. 1		N D		
バレイシヨ	尾 駱	H26. 8. 14		N D		
ハクサイ	千 樽	H26. 10. 21		N D		
ナガイモ	平 沼	H26. 11. 12		N D		
牧 草	富 ノ 沢	H26. 6. 3		0. 2		フェソ- (1番草)
		H26. 8. 25		0. 3		フェソ- (2番草)
	二 又	H26. 5. 28		N D		フェソ- (1番草)
		H26. 7. 25		0. 1	フェソ- (2番草)	
ワカサギ	尾 駱 沼	H26. 10. 21		12		

・「大気」の測定値は粒子状フッ素及び気体状フッ素の合計。

(10) 気象観測結果

①風速・気温・湿度・降水量・積雪深

測定局	測定月	風速(m/sec)		気温(℃)			湿度(%)		降水量(mm)	積雪深(cm)				
		平均	最大	平均	最高	最低	平均	最小		平均	最大	最小	過去の値	
													平均	最大
老部川	4月	—	—	—	—	—	—	—	18.0	0	8	0	0	15
	5月	—	—	—	—	—	—	—	60.5	0	0	0	0	0
	6月	—	—	—	—	—	—	—	154.0	0	0	0	0	0
	7月	—	—	—	—	—	—	—	79.0	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	293.0	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	79.5	0	0	0	0	0
	10月	—	—	—	—	—	—	—	169.0	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	76.5	0	0	0	0	10
	12月	—	—	—	—	—	—	—	203.0	17	35	0	6	62
	1月	—	—	—	—	—	—	—	88.5	33	58	17	29	100
	2月	—	—	—	—	—	—	—	42.5	11	23	1	37	123
	3月	—	—	—	—	—	—	—	80.5	0	1	0	17	110
	年間	—	—	—	—	—	—	—	1344.0	5	58	0	7	123
二又	4月	2.9	9.1	6.7	23.9	-7.6	68	17	15.5	0	0	0	5	79
	5月	2.8	9.8	12.7	26.6	-1.1	79	33	73.0	0	0	0	0	0
	6月	2.3	7.0	15.6	24.0	7.8	92	44	190.5	0	0	0	0	0
	7月	1.9	7.4	20.3	29.9	12.2	91	48	48.0	0	0	0	0	0
	8月	1.9	8.3	21.3	32.0	13.3	93	53	306.5	0	0	0	0	0
	9月	1.5	6.0	17.0	26.6	5.1	88	34	59.0	0	0	0	0	0
	10月	1.8	11.8	10.5	23.7	-1.5	85	42	167.0	0	0	0	0	0
	11月	3.0	11.8	6.9	19.9	-5.4	82	47	64.5	0	0	0	0	17
	12月	3.8	12.0	0.0	12.8	-9.2	89	52	133.5	34	56	0	6	58
	1月	3.8	10.9	-0.2	7.1	-9.5	86	54	65.0	54	71	45	31	103
	2月	3.2	10.6	0.3	6.5	-8.0	81	48	23.5	51	74	25	52	138
	3月	3.4	10.2	3.5	17.5	-6.6	83	29	84.5	3	26	0	36	129
	年間	2.7	12.0	9.6	32.0	-9.5	85	17	1230.5	12	74	0	11	138
室ノ久保	4月	—	—	—	—	—	—	—	20.0	1	27	0	8	103
	5月	—	—	—	—	—	—	—	89.0	0	0	0	0	0
	6月	—	—	—	—	—	—	—	153.0	0	0	0	0	0
	7月	—	—	—	—	—	—	—	89.0	0	0	0	0	0
	8月	—	—	—	—	—	—	—	298.5	0	0	0	0	0
	9月	—	—	—	—	—	—	—	79.0	0	0	0	0	0
	10月	—	—	—	—	—	—	—	174.5	0	0	0	0	0
	11月	—	—	—	—	—	—	—	67.5	0	0	0	0	15
	12月	—	—	—	—	—	—	—	199.5	32	69	0	10	78
	1月	—	—	—	—	—	—	—	87.5	61	77	49	44	106
	2月	—	—	—	—	—	—	—	44.5	56	80	40	73	176
	3月	—	—	—	—	—	—	—	78.0	9	40	0	60	154
	年間	—	—	—	—	—	—	—	1380.0	13	80	0	16	176

・測定値は「地上気象観測指針(平成14年気象庁)」に基づく1時間値。

・積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間(平成21~25年度)の同一時期の平均値及び最大値。

②大気安定度出現頻度表

単位：時間数（括弧内は％）

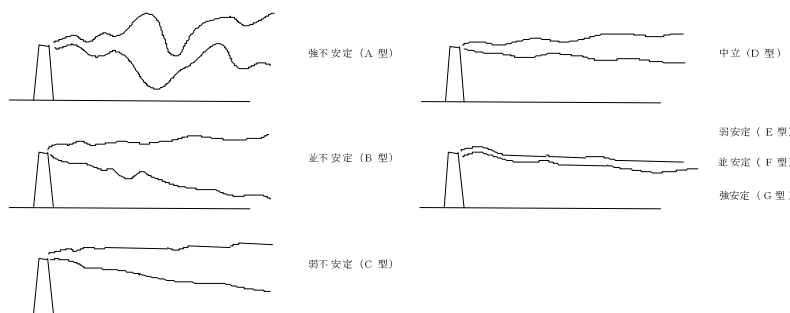
測定局	分類 測定月	A	A-B	B	B-C	C	C-D	D	E	F	G	計	備考
		二又	4月	7 (1.0)	29 (4.0)	48 (6.7)	17 (2.4)	122 (16.9)	23 (3.2)	234 (32.5)	21 (2.9)	41 (5.7)	
	5月	9 (1.2)	36 (4.8)	59 (7.9)	32 (4.3)	88 (11.8)	27 (3.6)	330 (44.4)	18 (2.4)	32 (4.3)	113 (15.2)	744 (100)	
	6月	10 (1.4)	34 (4.8)	71 (10.0)	16 (2.3)	51 (7.2)	9 (1.3)	423 (59.7)	1 (0.1)	5 (0.7)	88 (12.4)	708 (100)	
	7月	12 (1.6)	76 (10.4)	75 (10.2)	19 (2.6)	47 (6.4)	9 (1.2)	373 (50.9)	9 (1.2)	2 (0.3)	111 (15.1)	733 (100)	
	8月	12 (1.6)	41 (5.5)	58 (7.8)	12 (1.6)	53 (7.1)	7 (0.9)	446 (59.9)	11 (1.5)	4 (0.5)	100 (13.4)	744 (100)	
	9月	16 (2.2)	54 (7.5)	69 (9.6)	10 (1.4)	46 (6.4)	13 (1.8)	250 (34.7)	13 (1.8)	14 (1.9)	235 (32.6)	720 (100)	
	10月	8 (1.1)	42 (5.6)	55 (7.4)	12 (1.6)	29 (3.9)	11 (1.5)	298 (40.1)	12 (1.6)	12 (1.6)	265 (35.6)	744 (100)	
	11月	0 (0.0)	23 (3.2)	39 (5.4)	5 (0.7)	16 (2.2)	6 (0.8)	463 (64.3)	23 (3.2)	17 (2.4)	128 (17.8)	720 (100)	
	12月	0 (0.0)	6 (0.8)	15 (2.1)	6 (0.8)	14 (1.9)	10 (1.4)	600 (82.9)	9 (1.2)	9 (1.2)	55 (7.6)	724 (100)	
	1月	0 (0.0)	5 (0.7)	25 (3.4)	6 (0.8)	15 (2.0)	11 (1.5)	582 (79.0)	15 (2.0)	6 (0.8)	72 (9.8)	737 (100)	
	2月	0 (0.0)	7 (1.0)	34 (5.1)	16 (2.4)	42 (6.3)	26 (3.9)	435 (64.7)	33 (4.9)	13 (1.9)	66 (9.8)	672 (100)	
	3月	1 (0.1)	22 (3.0)	41 (5.5)	17 (2.3)	56 (7.5)	24 (3.2)	408 (54.8)	31 (4.2)	18 (2.4)	126 (16.9)	744 (100)	
	年間	75 (0.9)	375 (4.3)	589 (6.8)	168 (1.9)	579 (6.6)	176 (2.0)	4842 (55.6)	196 (2.3)	173 (2.0)	1537 (17.6)	8710 (100)	

・「発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針（平成13年3月 原子力安全委員会）」に基づく1時間値を用いて分類。

大気安定度分類表

風速(U) m/s	日射量 (T) kW/m ²				放射収支量 (Q) kW/m ²		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A-B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A-B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B-C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C-D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

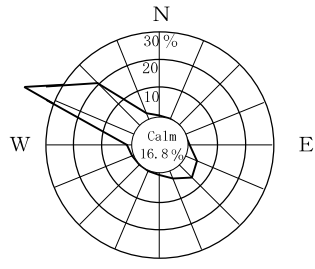
発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針（平成13年3月 原子力安全委員会）



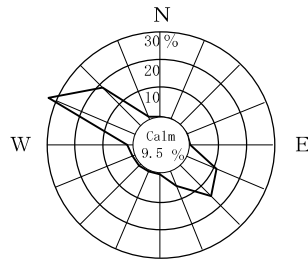
大気安定度と煙の型との模式

③ 風配図

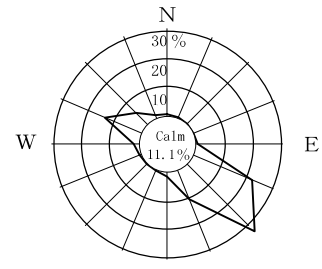
二又



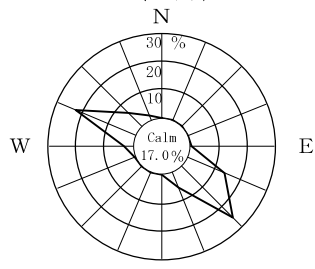
(4月)



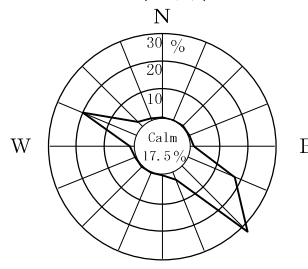
(5月)



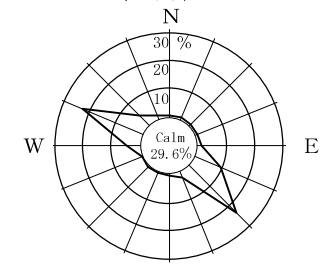
(6月)



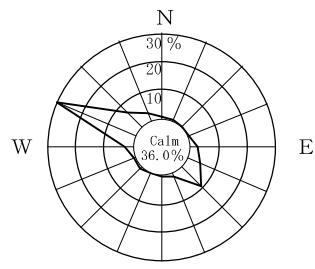
(7月)



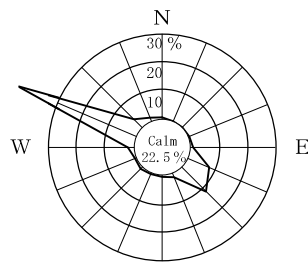
(8月)



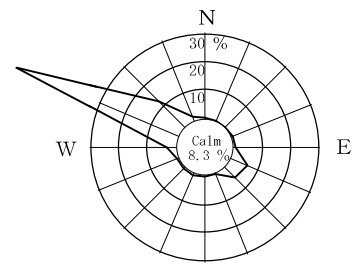
(9月)



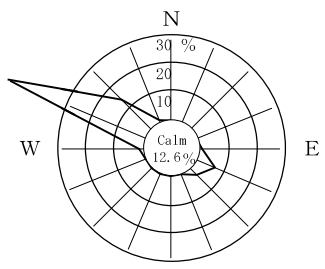
(10月)



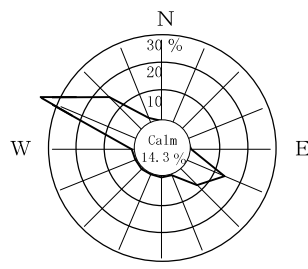
(11月)



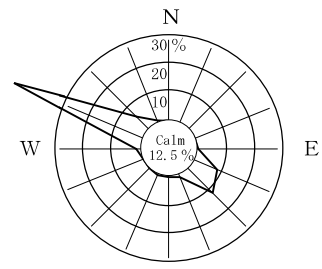
(12月)



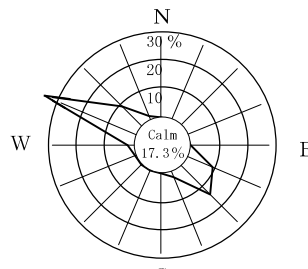
(1月)



(2月)



(3月)



(年間)

Calm: 風速0.4m/sec以下

3. 線量の推定・評価

(1) 測定結果に基づく線量

平成 26 年度の測定結果に基づき実施する「施設起因の線量の推定・評価」については、施設寄与が認められなかったため省略した。

(2) 放出源情報に基づく線量（事業者報告）

再処理工場から放出された放射性物質に起因する実効線量として、「再処理事業所 再処理事業指定申請書及びその添付書類（平成 23 年 2 月 14 日許可）」に示されるものと同様の計算モデル及びパラメータを用い、平成 26 年度 1 年間の放出実績をもとに算出した結果を表 1 に示す。

表 1 放出源情報に基づく実効線量算出結果 (単位：mSv/年)

放射性気体廃棄物による実効線量	0.000030
放射性液体廃棄物による実効線量	0.0000013
合 計	0.000031 ^{※1}

放射性気体廃棄物による、放射性雲からの外部被ばく、地表沈着による外部被ばく及び呼吸摂取による内部被ばくの合計が最大と評価されたのは、主排気筒を基準として方位 W、距離 0.9 km の地点であった。

※1：放射性気体廃棄物による実効線量と放射性液体廃棄物による実効線量を加算しても、有効数字の取扱いの関係で一致しないことがある。

(3) 自然放射線等による線量

原子燃料サイクル施設から環境への影響を評価する場合の参考として、「自然放射線等による線量算出要領（平成 18 年 4 月改訂、青森県）」に基づき、平成 26 年度 1 年間の自然放射線等による実効線量を算出した。

① 外部被ばく

表 2 に示すとおり、平成 26 年度の外部被ばくによる実効線量は、0.134 ～ 0.218 ミリシーベルト^{※2}であった。

外部被ばくによる実効線量は、宇宙線を除いた自然放射線等について算出したものである。算出結果は主に大地からの放射線によるものである。

② 内部被ばく

表 3 に示すとおり、平成 26 年度の内部被ばくによる預託実効線量（摂取後 50 年間の総線量）は、合計として 0.0082 ミリシーベルト^{※2}であった。

内部被ばくによる預託実効線量は、施設から放出される可能性のある放射性核種の代表的なものを対象核種として算出したものであり、今年度の算出結果は、セシウム-137、ストロンチウム-90 及び炭素-14 によるものであった。このうち、セシウム-137 は東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故に、ストロンチウム-90 は核実験等にそれぞれ起因するものであり、炭素-14 については、自然に存在するものと核実験等に起因するものである。

※2：過去の自然放射線等による実効線量

外部被ばく：0.124～0.222 ミリシーベルト（平成 21～25 年度）

内部被ばく：0.0068～0.0252 ミリシーベルト（平成 7～25 年度）

[参考] 世界の年間一人当たりの自然放射線による実効線量は、外部被ばくとして、宇宙から約 0.39 ミリシーベルト、大地から約 0.48 ミリシーベルトであり、また、内部被ばくとして、空気中のラドンから約 1.26 ミリシーベルト、食物から約 0.29 ミリシーベルトであり、合計で約 2.4 ミリシーベルトである。

（出典：「原子放射線の影響に関する国連科学委員会の総会に対する 2008 年報告書」）

表2 外部被ばくによる実効線量（平成26年度）

青 森 県			
測 定 地 点		実 効 線 量 (mSv)	
六ヶ所村	尾 駁	0.170	
	千 歳 平	0.176	
	平 沼	0.177	
	泊	0.168	
	出 戸	0.139	
	老 部 川	0.150	
	富 ノ 沢	0.182	
	二 又	0.174	
	むつ小川原 石 油 備 蓄	0.167	
	室 ノ 久 保	0.173	
	六 原	0.204	
	倉 内	0.174	
	横 浜 町	吹 越	0.164
		明 神 平	0.212
横 浜 町 役 場		0.190	
野 辺 地 町	有 戸	0.210	
	野 辺 地	0.218	
東 通 村	白 糠	0.182	
東 北 町	西 公 園	0.149	
	水 喰	0.163	
	淋 代	0.182	
	東 北 町 役 場	0.170	
三 沢 市	三 沢 市 役 所	0.218	
比 較 対 照 (青 森 市)	環 境 保 健 セ ン タ ー	0.201	

事 業 者		
測 定 地 点		実 効 線 量 (mSv)
六ヶ所村	老 部 川	0.134
	二 又	0.152
	室 ノ 久 保	0.145
	石 川	0.169
	新 町	0.185
	大 石 平	0.173
	富 ノ 沢	0.159
	雲 雀 平	0.170
	むつ小川原 石 油 備 蓄	0.143
	千 樽	0.157
	豊 原	0.151
	千 歳 平	0.151
	六 原	0.176

- 外部被ばくによる実効線量は、対照用RPLDの線量を差し引いたRPLDの測定値（年間積算線量）から算出した。
- 測定地点においてRPLDは、大地などの放射線、宇宙線及びRPLD自身に含まれる放射性物質からの放射線（自己照射）による線量を合わせて測定している。
一方、対照用RPLDは鉛容器に収納しているため、大地などからの放射線がさえぎられ、主に自己照射と宇宙線（一部は鉛しゃへいにより吸収される）による線量を測定している。
- 表2に示す外部被ばくによる実効線量は、主に大地などからの放射線による実効線量に相当する。
- 対照用RPLDの設置条件は以下のとおりである。
設置場所 県：青森県原子力センター（鉄筋コンクリート2階建）の1階（六ヶ所村）
事業者：日本原燃(株)環境管理センター（鉄筋コンクリート2階建）の1階（六ヶ所村）
容器 鉛 5cm厚

表3 内部被ばくによる預託実効線量（平成26年度）

食品等の種類	⁵⁴ Mn	⁶⁰ Co	¹⁰⁶ Ru	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	¹⁴⁴ Ce	³ H	¹⁴ C	⁹⁰ Sr	²³⁹⁺²⁴⁰ Pu	U	¹³¹ I	備考
米	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	0.0059	NE	NE	NE	—	
葉菜	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	0.0003	0.0004	NE	NE	—	
根菜・いも類	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	0.0007	0.0002	NE	NE	—	
海水魚	NE	NE	NE	NE	0.0007	NE	NE	—	NE	NE	—	—	
淡水魚	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	—	NE	NE	NE	—	
無脊椎動物（海水産）	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	—	NE	NE	—	—	
無脊椎動物（淡水産）	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	—	NE	NE	—	—	
海藻類	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	—	NE	NE	—	—	
牛乳（原乳）	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	—	NE	—	NE	—	
飲料水	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	NE	NE	—	—	
空気	NE	NE	NE	NE	NE	NE	NE	—	NE	NE	NE	NE	
計	NE	NE	NE	NE	0.0007	NE	NE	0.0069	0.0006	NE	NE	NE	

合計 0.0082 mSv

- ・青森県及び日本原燃株式会社が平成26年度に調査した全測定結果の食品等の種類毎、対象核種毎の単純平均値を用いて算出した。ただし、測定値にND（定量下限値未満）が含まれる場合は、NDを定量下限値の値として算出した。
- ・食品等の種類毎、対象核種毎の算出結果が、0.00005 mSv 未満の場合、または、測定値全てが定量下限値未満の場合は、線量をNEとした。
- ・計を求める場合は、NEを加算していない。
- ・算出した預託実効線量は、セシウム-137については東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故に、ストロンチウム-90については核実験等にそれぞれ起因するものであり、炭素-14については自然に存在するものと核実験等に起因するものである。

